

ONE WAKE RECITAL
SETSUGU COMMITTEE
2019

1つWAKE 発表会

ONE WAKE RECITAL
SETSUGU COMMITTEE
2019

1→WAKE 発表会



ONE WAKE RECITAL
SETSUGU COMMITTEE
2019

1→WAKE 発表会

1つWAKE AWARD 2019モデル事業所賞

事業所名	テ - マ	発表者
最優秀賞 つまちなかこどもセンター	地域に根ざした保育園 を目指して	藤岡 香子 吉田 京子
優秀賞 訪問看護ステーション 鈴鹿シルバーケア豊寿園	のんちゃんで行うターミナルケア ～笑顔の家族に囲まれて～	岩本 麻子

最優秀賞



つまちなかこどもセンター

優秀賞



訪問看護ステーション鈴鹿シルバーケア豊寿園

ONE WAKE RECITAL
SETSUGU COMMITTEE
2019

1→WAKE 発表会

1つWAKE 発表会 2019 プログラム

開催日:平成 31 年 3 月 9 日(土) 13:00~17:00

開催場所: 第二はなこま保育園 遊戯室

時 間	プ ロ グ ラ ム		内 容 ・ 発 表 者
13:00	開会の挨拶		山田理事長 挨拶
13:05	開会宣言		接遇委員会 黒田委員長
13:10	ルール説明・注意事項		井坂施設長・松原園長
13:15~	1	志摩シルバーケア豊壽園	『体験実習型人事交流』 山川 吉幸
13:25~	2	ふたみ訪問介護ステーション	登録ヘルパーと共に 出口 浩美・掃部 直子
13:35~	3	ALL KOUKA	甲賀のキセキ ~これからの甲賀~ 花井 伯樹
13:45~ 13:55	コメント・質問・意見等 (中島部長:約 10 分以内)		
14:00~	4	津中部南地域包括支援センター	津中部南地域包括支援センター 5 年間の介護予防への取り組み 浮田 悠佳・宮内 万琴
14:07~	5	伊賀通所介護事業	伊賀サーキット ~動きの中に楽しみを~ 出馬 卓・諸岡 慶大
14:14~	6	訪問看護ステーション 鈴鹿シルバーケア豊壽園	のんちやんと行うターミナルケア ~笑顔の家族に囲まれて~ 岩本 麻子
14:15~ 14:25	コメント・質問・意見等 (小倉部長:約 10 分以内)		
14:25~ 14:35	休憩(10分)		
14:40	7	障がい事業部合同チーム	余暇支援 ~充実した休日を過ごして頂く為に~ 大山 恭弘・中原 克昌
14:48	8	久居ケアサービスセンター リラステーション	地域を元気にする治療院を目指して 矢谷 淑江・後藤 沙恵
15:00	コメント・質問・意見等 (西尾部長約 10 分以内)		
15:10~	9	豊野保育園	チャレンジタイム 脇田 知美・伊原 麻衣
15:18~	10	つまちなかこどもセンター	地域に根差した保育園を目指して! 藤岡 香子・吉田 京子
15:30 ~ 15:40	コメント・質問・意見等(佐伯部長約 10 分以内)		
~16:10	投票集計 ・ 休憩		
16:15	職員 MVP2019 発表 ・ 表彰式		
16:25	モデル事業所賞発表(最優秀賞、優秀賞) ・ 表彰式		
16:30	挨拶 (山田専務執行役)		
16:50	閉会 (受賞者写真撮影)		
17:00	解散 (遊戯室設営片づけ)		

志摩シルバーケア豊寿園

体験実習型人事交流



皆さんは洗心福祉会に就職してから、どれだけの事業所を経験しましたか？

いきなりですが、『皆さんは洗心福祉会に就職してから、どれだけの事業所を経験しましたか？』

志摩地区老人介護事業部にも11の事業所があり130名の職員が働いています。私も早いもので就職してから8年目が終わろうとしています。経験したのは志摩シルバーケア豊寿園だけなんです。

私が所属する志摩地区老人介護事業部にも7つの拠点で11の事業所があり130名の職員さんが働いています。

その中で私も早いもので就職してから8年目が終わろうとしています。経験したのは志摩シルバーケア豊寿園だけです。

志摩シルバーケア豊寿園というユニット型特養の介護職員としての経験値は年々上がり、志摩特養のエキスパートとして日々大活躍しておりますし（笑）、それを望んできましたが、また違った感情も芽生えてきました。

8年も同じ施設でお仕事させて頂いていますので、当然、志摩シルバーケア豊寿園というユニット型特養の介護職員としての経験値は年々上がり、志摩特養のエキスパートとして日々大活躍しておりますし（笑）、ある意味そうなる事を望んでいましたが、最近はまだ違った感情も少しずつ芽生えてきました。

はたしてこのままで良いのだろうか？
でも人事異動はやっぱり不安だ！
それでもちょっと他の事業所もみてみたい！！

それは、はたしてこのまま志摩シルバーケア豊寿園での経験だけで良いのだろうか？でも人事異動で他の事業所に行くのはやっぱり不安です。それでもちょっと他の事業所もみてみたい……。そのような気持ちが出てきました。

また、管理職の皆様にもこのような想いがありますか？

『あの職員にもそろそろ違う部署を経験させたいんだけど異動を嫌がるんだよなあ〜。』

『もっと多くの事業所を経験して、将来的には管理者にもなって欲しいんだけど、経験する前から自信無いですとか言うもなあ〜。』

また、管理職の皆様におかれましても、このような想いがありますでしょうか？

『あの職員にもそろそろ違う部署を経験させたいんだけど異動を嫌がるんだよなあ〜。』

とか、『もっと多くの事業所を経験して、将来的には管理者にもなって欲しいんだけど、経験する前から自信無いですとか言うもなあ〜。』という風に、人材育成を図る上での配置先を検討するうえで、『困ったなあ〜。』という事も結構あるのではないのでしょうか？

そんな時はこれです！！

そう、

『体験実習型人事交流』

です！！！！

そんな時はこれです！！

そう、『体験実習型人事交流』です！！！！

まじめな目的は、

人事評価制度を踏まえ計画的な人事交流を実施することで、他部署での業務を経験し、他部署の職員の動き等を体験し、様々なご利用者様に触れる機会をつくる。その結果、広い視野と柔軟な理解・対応力を養い、どこの事業所に配置されても業務に素直に向き合いどこでも通用する職員の育成を図る。

まじめな目的としましては、『人事評価制度を踏まえ計画的な人事交流を実施することで、他部署での業務を経験し、他部署の職員の動き等を体験し、様々なご利用者様に触れる機会をつくる。その結果、広い視野と柔軟な理解・対応力を養い、どこの事業所に配置されても業務に素直に向き合いどこでも通用する職員の育成を図る。』という事になりますが、ちょっと硬いですかね？

難しく考えないで・・・、

無理とか向いてないとか嫌だとか不安だとか言わないで、まずは1日だけでも初心に帰って体験してみようよ！何か新しい発見や刺激があるよ！！

そんなに難しく考えずにですね、『私には無理とか向いてないとか嫌だとか不安だとか言わないで、まずは1日だけでも初心に帰って体験してみようよ！何か新しい発見や刺激があるよ！』という感じで十分だと思います。

平成30年度実績①

今年度は交流実施の初年度でしたが、7月から1月にかけての7ヶ月間で、17名の人事交流を行うことができました。

平成30年度の実績としましては、交流実施の初年度でしたが、7月から1月にかけての7ヶ月間で、17名の人事交流を行うことができました。

平成30年度実績②

7/11、志摩シルバーケア豊壽園から阿児小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園へ男性介護職員が1名
7/18、志摩シルバーケア豊壽園から阿児小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園へ女性介護職員が1名
7/25、阿児小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園から志摩シルバーケア豊壽園に女性介護職員が1名

実績の詳細ですが、7/18の阿児第2通所介護センター真珠荘からふたみ通所リハビリセンターシルバーケア豊壽園へ女性介護職員が1名というのは、交流するならば是非同じ通所系でお願いしたいとの意向があり、伊勢地区老人介護事業部との連携で実施した経緯があります。

平成30年度実績③

8/8、志摩シルバーケア豊壽園から阿児小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園に男性介護職員が1名
8/22、阿児認知症対応型グループホーム真珠荘から阿児指定居宅介護支援センターシルバーケア豊壽園に女性介護職員が1名
8/29、浜島小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園から志摩シルバーケア豊壽園に男性介護職員が1名

8/8の志摩シルバーケア豊壽園から阿児小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園に男性介護職員が1名というのは私山川です。

8/22の阿児認知症対応型グループホーム真珠荘から阿児指定居宅介護支援センターシルバーケア豊壽園に女性介護職員が1名というのは、介護支援専門員の資格を取得しましたが実務には就いていない職員の近い将来実務に就いてもらう事を想定したうえでの交流です。

平成30年度実績④

9/5、志摩シルバーケア豊壽園から阿児認知症対応型グループホーム真珠荘へ女性介護職員が1名
9/19、阿児短期入所生活介護センター第二真珠荘から浜島小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園へ女性介護職員が1名
9/19、志摩シルバーケア豊壽園から阿児指定居宅介護支援センターシルバーケア豊壽園へ女性介護職員が1名

9/19も先ほどと同じで伊勢地区老人介護事業部との連携で同じ通所系での交流をしました。

平成30年度実績⑤

10/10、志摩シルバーケア豊壽園から阿児訪問介護ステーションシルバーケア豊壽園へ女性介護職員が1名

10/17、阿児第二真珠荘から、志摩シルバーケア豊壽園へ女性介護職員が1名

10/23、浜島認知症対応型グループホームシルバーケア豊壽園から阿児第2通所介護センター真珠荘へ女性介護職員が1名

10/24、浜島小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園から志摩シルバーケア豊壽園へ男性介護職員が1名

10/17も同じですね。拠点をまたいでの同じ通所系での交流実績です。

平成30年度実績⑥

11/14、志摩シルバーケア豊壽園から阿児短期入所生活介護センター第二真珠荘へ男性介護職員が1名

11/28、大王認知症対応型グループホームシルバーケア豊壽園から阿児第2通所介護センター真珠荘へ男性介護職員が1名

12/12、志摩シルバーケア豊壽園から大王小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園へ男性介護職員が1名

1/17、阿児短期入所生活介護センター第二真珠荘から、志摩シルバーケア豊壽園へ男性介護職員が1名

最終日の1/17には阿児短期入所生活介護センター第二真珠荘からしま福祉用具貸与販売事業シルバーケア豊壽園へ男性介護職員が1名ということで、志摩地区老人介護事業部内での交流はあまり偏りのないようにまんべんなく交流できたように思います。

今年度の人選等の理由

- まずはユニットリーダーから。
- 面談の中で出た興味のあるところ。
- ご利用者様のご状態が違うところ。
- 保有資格を活かす為にも。

等々

交流実績を紹介しましたが、今年度の人選等においては、実施初年度ということなのでまずは先輩職員であるユニットリーダーからが良いと思いましたが、せっかくの機会なので今までの面談の中で出た興味のあるところに行かせてあげたいですし、あえて大きな変化を意識してご利用者様のご状態や支援方法の違いが大きいくところに行ったり、保有資格を活かす為にもライセンスが必要なところに行ったりと、このような理由をベースに人選や交流先の決定がされました。

体験者の感想①

- 何もかもが新鮮でした。
- レクリエーションや感染症対策など、他部署での工夫している部分を自分の事業所でも活かしていきたい。
- 異動の際に感じる不安が少し軽減されました。
- まだまだ知らない事がたくさんあり違う部署で働きたいと思うようになりました。
- 1日では短い。
- 自分の職場に迷惑を掛けたような気もしました。等々

交流実施後の感想を聞きますと、何もかもが新鮮でしたとか、レクリエーションやリハビリテーションの仕方、食事の提供の仕方や感染症対策など、他部署での工夫している部分を自分の事業所でも活かしていきたいとか、異動の際に感じるであろう不安が少し軽減されましたとか、まだまだ知らない事がたくさんあり違う部署で働きたいと思うようになりましたという感想が聞かれました。又、1日では短いので2～3日連続して実施して欲しいとか自分の職場に迷惑を掛けたようで申し訳ない気持ちになりましたという意見もありました。

体験者の感想②

高校卒業後、特別養護老人ホームだけで働いてきた私の感想は、『在宅でお独りで暮らしてみえる方って、言ってもそれなりにお元気な方々なんですよ?』という思い込みが大きく覆されました。

私山川も交流させてもらいましたので、体験後の感想を少しお伝えします。高校卒業後、ずっと特養だけで働いてきた私の感想は、『在宅でお独りで暮らしてみえる方って、言ってもそれなりにお元気な方々なんですよ?』という思い込みが大きく覆されました。初めてご利用者様のご自宅に訪問させて頂いて、夏場でもエアコンを使用されずに水分も摂取されない方への支援であったり服薬もきちんとできていない方への支援であったり、自分が想像していた独居の方の生活よりも実際はずっとずっと大変であると感じました。

初年度の効果は、

人事交流体験者のほとんどが、『またこのような機会があれば嬉しいです。』と言っていました。自分が長年慣れ親しんだ事業所や施設に固執せず、違った環境でも自分が働くイメージを持てるように少しはなったと思います。

初年度の効果としましては、人事交流体験者のほとんどが、『またこのような機会があれば嬉しいです。』と言っていました。自分が長年慣れ親しんだ事業所や施設に固執せず、違った環境でも自分が働くイメージを持てるように少しはなったと思います。又、拠点を超えて同じ通所系での交流実績を紹介しましたが、その中でも更に同じ通所リハビリセンター同士の交流をということで津地区と伊勢地区での交流も行われていますし、尚且つ介護職員だけではなくセラピストも交流されています。他にも伊賀地区と甲賀地区でも管理栄養士同士の業務確認会議であったり、津の特養でも入所担当とショート担当での職員間のお互いの業務の中身を改めて体験し共有する為の施設内交流の取り組みであったりと、志摩地区での体験実習型人事交流の開始が、他地区での様々な交流のきっかけとなったのかなと勝手に思っています（笑）。

次年度の展開は、

- 日数を増やして2～3日連続して交流を。
- 役職者にも交流してもらいたい。
- 別拠点の同系列事業所にて交流したい。
- 様々な職種でも交流してもらいたい。
- 実施後の提出用紙の変更も検討したい。

等々

次年度の展開としましては、日数を増やして2～3日連続して実施したいですし、一般職だけではなく役職者にも交流してもらいたいですし、別拠点の同系列事業所でも交流できれば良いなと思いますし、介護職員だけではなく他の職種でも交流してもらいたいと思っています。又、実施後の提出用紙の変更も検討したいと考えています。『皆様！他の事業所を体験して刺激をもらい普段のマナー感解消に！異動後のミスマッチ回避に！自身の経験値アップに！この体験実習型人事交流がお勧めです！！』

ご静聴
ありがとうございました。



登録ヘルパーと共に

ふたみ訪問介護ステーション



『登録ヘルパー』とは・・・？

法人の制服を着ているが法人職員ではない
個人事業主・契約して仕事を請け負っている
出勤の必要なし・タイムカードもない
自分の車で活動する
『登録さん』と呼ばれる
ケースの70%以上を担って頑張ってる

**登録さんなくして事業は成り立たない！
登録さんの仕事はそのまま豊壽園の仕事！！**

訪問介護は在宅生活を支える重要な資源の一つです。その活動内容は多岐にわたり、全員一丸となって日々業務に励んでいます。今日はその中でも登録ヘルパーに焦点を当てご紹介したいと思います。

登録ヘルパーについて少し説明しますと、同じ法人の制服を着て同じヘルパー活動をしますが、実は法人の職員ではありません。それぞれ独自に事業展開する個人事業主です。法人と契約して仕事を請け負う形なので、事務所に出勤する必要もなくタイムカードもありません。仕事は自宅から直行直帰です。登録ヘルパーのことを私たちは親しみを込めて登録さんと呼んでいるのでここでもそう呼ばせて頂きます。ふたみには現在13名の登録さんが在籍して、実に70%のケースを担っていますから、登録さんなくしてヘルパー事業は成り立ちません。そして登録さんの仕事はそのまま豊壽園ヘルパーの仕事になる訳ですから1人1人の力量がとて大切になってきます。

登録さんはどんな人？

- ・ 個性的で優しい
- ・ 技術がある
- ・ 法人愛に溢れている
- ・ まだまだ伸びしろ！

ふたみの登録さんは皆個性的で優しく、技術がありそしてなぜか法人愛にあふれています。そしてまだまだ伸びしろがあります。

登録さんに2つのミッション

- ① 自立支援に向けての取り組み
- ② 研修の充実

そこで今年度、私たちは登録さんにもっと力量をつけてもらうために2つのミッションを設定しました。

ミッション1 『自立支援に向けての取り組み』

手際よく早い ≠ 質が高い仕事
力を発揮してもらう = 質が高い仕事
(報酬も高い)

1つ目は『自立支援に向けての取り組み』2つ目は『充実した研修』を受けてもらう事です。ミッション1は『自立支援に向けての取り組み』についてです。ベテランになる程手早く仕事をこなせるようになりますが、速さがすべてではありません。ご利用者様に持てる力を十分発揮してもらってこそ、本当に質の高いヘルパーの仕事と言えるのです。それこそが自立支援です。簡単な事ではありませんが、これがちゃんとできれば高い報酬を算定することも出来るのです。そこで登録さんたちには、改めて自立支援ということをしかり理解して現場で取り組んでもらいたいと考えました。

『自立支援』への取り組みに向けて
私たちの試み

- (a) カリスマヘルパーから話を聞く
- (b) 寸劇を演じる
- (c) 現場で取り組んでもらう

(a) カリスマヘルパーから 聞きました

登録さん曰く

目指す方向がはっきりした。
仕事に張り合いを感じた。

(B) 寸劇を演じました



(C) 現場で取り組んでもらいました

A様 『私、家事は得意なのよ。全部自分でやってきたから。
お手伝いはいらないわ』
Nさん 『あら、ほんと。綺麗にしてらっしゃいますねえ。
あ、ところで今日ゴミの日ですね。』
A様 『あらそうでした?』
Nさん 『ついでですから、ここを掃いてそのゴミも
入れてから一緒に出しに行きませんか?』
A様 『そうですか・・・じゃあ』 云々

その為に私たちが試みたことが3つあります。

カリスマヘルパーから話を聞きました。現在エバンジェリストとして活躍中ですが、当時の伊藤京次長をお招きして自立支援についての話を熱く語って頂きました。経験に裏打ちされた話は皆の心にしっかり響いたようで、目指す方向がはっきりし、仕事に張り合いを感じたと感想を聞くことが出来ました。

ヘルパーの活動現場を再現した寸劇をしてみました。自立支援を成功させたくて『一緒にやりましょう』と働きかけるヘルパーと『私がやるのかしら』と思っているご利用者様の掛け合いで、これがその時の様子です。

実際の現場では『私が出来るならヘルパー頼まん。』といわれる事もあり順調とは限りませんが、常に自立支援の意識を持っていて欲しいというメッセージをこめました。

実際の現場での取り組みをしてもらいました。各登録さんに、それぞれ目標のご利用者を決めて自立支援を念頭に支援してもらいました。時々管理者やサービス提供責任者も同行して一緒に考えるよう計画しました。

一例を紹介しますと、登録のNさんの場合、A様というご利用者様に自立支援を行うという目標をきめました。認知症で一人暮らしの女性です。家事が得意でしたので、何でも自分でできるとおっしゃり、初めは家にも上げられません。A様はご自分では家事をしているつもりでしたが、現状は埃がつもり食べ物も傷んでいました。Nさんは毎回黒子になって試行錯誤、やがて一緒に掃除や調理ができるようになりました。今もA様は毎週やってくるNさんの事を覚えてはいませんが、私が様子を見に行った時は一緒に家事をして、とてもたのしそうでした。Nさんが1人でした方がずっと簡単ですがNさんは『自立支援』を理解し遂行してくれたのです。

ミッション2 『研修の充実』

新しい情報を知る
世の中の流れを知る ⇒ 質の高い仕事へ

2つ目のミッション『研修の充実』ということでは。

登録さんは職員ではありませんから、基本、外部研修の機会はありません。でも研修は大事です。新しい情報を知り世の中の流れを知るとは必ず質の高い仕事に繋がると考え、登録のOさんには二見地区の地域ケア会議に参加してもらうことにしました。地域ケア会議とは包括支援センター主催で、様々な地域課題を話しあい解決を模索する場です。医療も介護も行政も警察も地域住民も、地域の多くの人たちが参加します。

地域ケア会議とは？

地域包括支援センターが主催

出席する人 : 医療・介護・行政・福祉・警察・学校・民生委員・
地域住民・・・
つまり地域の人全部

話し合う事 : 様々な地域課題やその解決策
つまり地域の話題すべて

そこに参加したOさんは、地域にこんなネットワークが出来つつあることに驚き、地域で働くヘルパーとしての役割を再認識したと話してくれました。自立支援の考えを持ったヘルパーは地域の中で輝きをもって存在すると思います。

二見地区地域ケア会議の風景

Oさんの頭



初めて外に
研修に行った
登録さん

調理の鉄人 ☆ 3位入賞☆

登録のIさんです。
二見の民生委員さんでもあります。



最後に、登録さんの前向きな姿勢を示すエピソードを一つ紹介します。
先月、法人内で訪問調整会議主催の料理大会がありました。

各ヘルパーステーションから料理自慢が集まって限られた時間と食材で腕を競ったのですが、登録のIさんには洗心福祉会の大きさを知ってほしいと思い、この大会への参加を打診したところ、すんなりOKしてくれてしかも見事3位入賞まで果たしました会場近くの高茶屋の総合ケアセンターも見学して頂いたところ、法人が多彩な資源を持っている事に対し、驚きと共に称賛してくれました。

Iさんは二見地区の民生委員もかねているためこんな地域資源としての的確に見てくれたのだと理解しました。

日々、失敗もありますが、今後も全員で質の高い仕事ができるヘルパーステーションを目指して活動していきたいと思っています。

ご清聴
ありがとうございました





甲賀シルバーケア豊壽園は、滋賀県甲賀市土山町にあります。とても自然豊かな地域で、冬はたくさんの雪が降り、人生初めての雪かきを経験しました。また隣りには、厄除けで有名な田村神社があります。施設の場所は、「モア」という喫茶店の跡地に建設されました。



第
法人初めての県外進出ということもあり、洗心福祉会を知っていた
たく為、先行部隊としてH28.8居宅・訪問介護事業を開設しまし
た。
各関係機関、事業所への挨拶まわり、地域の自治会への参加、本部
や各関係者の協力を得て、ポスティングを行いました。



また地域の行事である清掃活動や田村神社、白川神社の祭りにボランティアや巫女さんとして参加をしました。



施設が完成し、H30.2.23に竣工式を迎えました。
たくさんの来賓を迎え、盛大に執り行われました。



24日、25日には内覧会を開催し、たくさんの地域の皆様に来園していただき、大盛況でした。とても忙しい二日間になりましたが、地元の方々に来園いただき職員一同笑顔で対応させていただきました。
そしてH30.3.1いよいよオープンとなりました。

第三章 各事業所の奮闘

特養（ユニット型、4ユニット）

3月1日 オープン。3月10名入居、4月14名入居。
7月ほぼ満床。

ユニット型特養の経験者0名。
甲賀特養としてのユニットケアを
何度も検討した。
（試行錯誤中…）

新人職員（未経験者）：6名
職員育成が大変……
なんとか頑張ってます！



特別養護老人ホームです。満床に向けて連日、調査、判定会、入所と頑張りました。ユニットの経験者が居ない為、検討会を開き、良いサービス、安心して暮らして頂けるように話し合いを繰り返しました。新人職員6名の職員育成も頑張りました。

短期入所

最初の三か月は・・・
まずは職員が業務に慣れ、安心してご利用頂けるショートステイを目指し、無理をしてお利用者様をお受けせず、出来る事を精一杯行い何とか無事に一日を終わらせる毎日。



半年経つと・・・
毎月のショート会議で業務内容も何度も検討を重ねる日々・・・
ショートステイ退所後「豊壽園さんにしてよかったわ。」とご家族様から暖かいお言葉を頂くことができ、少しずつ信頼して頂く事ができてきました。



短期入所介護です。15日のオープンに向けて準備を始めました。最初の三か月は職員が業務に慣れるまでご利用者様を制限し安全に一日を終わらせることを第一にしました。

訪問介護

「親切」・「丁寧」をモットーに！
毎日、営業に走り回り、猛アピール！！！！

3か月間、ご利用者様 0名

困難・ターミナルケースを受け、
対応を見ていただく事で、
少しずつ信頼関係を築くことができた。



訪問介護です。先陣をきって平成28年8月から甲賀市土山町の仮事務所からスタートし、最初の三か月間はお利用者数0名でした。親切、丁寧をモットーに毎日、大変な寒さ、雪の中も訪問しました。

通所

一からのスタートでした。
3/1時点でお一人の契約がと
れていただけだったので、毎
日営業に出掛けました。
同時進行で職員が業務に慣れ、
連携を取れる様に頑張りました。



通所介護です。連日、外部の居宅介護支援事業所へ営業に出かけました。アピールする為に甲賀通所介護センターの特色、方向性を確立する為に職員さん達と話し合いを重ねました。ご利用様も少ない中、みんなで頑張りました。

第四章 山あり

ご利用者様も増え、地域の認知度もアップ！！

- 敬老祝賀会 • あい豊まつり
- TUCHIYAMA COFFEE



特養はほぼ満床、短期入所は退所後「豊壽園さんにしてよかったわ」とご家族様からお言葉を頂くことが出来ました、通所は毎日、15名近くご利用頂ける事が出来ました。訪問も困難、ターミナルケースとどんなケースもお受けし、信頼関係を築くことが出来ました。

9月には敬老祝賀会を地元の議員さん、地元の園児さん、歌の高井さんを迎えて米寿、白寿、100歳以上の方のお祝いをさせて頂きました。

11月3日には「あい豊まつり」を開催し、隣の中学校の吹奏楽部、甲南太鼓、よさこいの方々に来ていただき、来園された方や入所様、御家族様に焼きいも、土山コーヒーを振舞ってよろこんで頂きました。

甲賀シルバーケア豊壽園を知って頂き、地元の方や居宅事業所との信頼関係をどんどん強くすることが出来ました。

第五章 谷あり谷あり谷あり・・・

- 急な利用者数の増加についていくことができず、ミスが続く・・・
荷物の返し忘れ、衣類の混乱等々
- 職員の退職。ご利用様は増えて、職員が減り、業務分担が多く、
まとまっていた職員間に溝が出てしまう。
- 広範囲の活動を行っている為、移動時間に費やしてケースが増えない。
(土山地域のケースを増やしたい!!)
- 業務を確立する前に、ご利用様が増え新しい職員への指導が間に合わない。
(嬉しい悩みですが・・・。)

未だ物唯立りの間にし利用者数が増えたりして一人職員への負担が同じ合わなくて職員間からの不満が出てきました。急な利用者数の増加についていくことが出来ず、荷物の返し忘れ等のミスが続きました。ご利用様が増えたのに職員が減って業務負担が多くなり、まとまっていたはずの職員間に溝が出てきました。また、広範囲の活動に行くため移動時間が増えてしまいケースが増えない状況になってしまいました。

苦労、困難が続きました。疲れが出たり、職員の退職が続いたり、本当に苦しい日がありました。甲賀全体が苦しくて、辛くて・・・研修や会議を繰り返して、他人の事を思いやる気持ちを一番に、事業所を超えて助け合いながら毎日を乗り切ってきました。

明るく、前向きに！がんばってきました

第六章 ～これからの甲賀～

- 職員育成！
- 地域とのつながり！
- 甲賀の団結力！



まずは人です。研修、不安そうな職員さんに声をかけて話を聞き、職員育成を頑張っていく。新しくきてくれた職員さんに甲賀シルバーケア豊壽園に馴染んで貰えるようにまた、楽しくやりがいを持って働いて貰えるように事業所を超えてみんなで育成していきます。特養は ユニット全部に力をつけてご利用様が笑顔で安心して過ごして頂けるように職員の育成を第一に頑張っていきます。

短期入所は 誰かがやるだろう。どうにかなるだろう。人任せにしないでもう一つ先をみられる職員になっていくために受け身にならず、自分発信できる職員になっていきます。

通所は ご利用者様に喜んで頂ける個別での対応、やりたい事をやれる通所、やりたい事を見つけることが出来る通所、1人1人に満足頂き、サービスを提供していきます。

訪問は 職員それぞれが目標を決めて、その目標に向けてサービスを提供し、目標に対して評価し、接遇、サービスの質を上げていきます。



地元、土山甲賀をもっともっと知って地域に一年目より一層貢献していき土山地域の一員として活動していきます。県外初の法人の事業所でオープンから一年間、みんながむしゃらに頑張ってきました。この頑張りを糧に一年一年積み重ねて甲賀エントランスに飾ってある熊原先生の「歴」の様に歴史を積み重ねて法人の根底の「なにかあったら甲賀豊壽園」と言って頂けるように頑張っていこうと思っています。

ご清聴ありがとうございました。



津中部南地域包括支援センター 5年間の介護予防への取り組み

津中部南地域包括支援センター

浮田 悠佳

宮内 万琴



地域包括支援センターの紹介



- ・津市から委託を受けた地域の高齢者の相談窓口
- ・専門職が配置（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）
- ・介護状態にならないように予防への取り組み
- ・暮らしやすい地域づくりのお手伝い、他機関と協力
- ・介護支援専門員への支援

津中部南地域包括支援センターの保健師の浮田と、主任介護支援専門員の宮内です。今回の発表は、当センターでの5年間の介護予防への取り組みについて、紹介させていただきます。

私たち津中部南地域包括支援センターの紹介です。

地域包括支援センターは、津市から委託を受けた、地域の高齢者の総合相談窓口です。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員といった、保健福祉の専門職があり、暮らしやすい地域づくりのお手伝いをしています。

介護予防への取り組み

- ・健康教室開催
地域の老人会、サロン、地域行事等
- ・現在6カ所の老人会で、定期開催
毎月1回1時間程度
健康講話30分
運動30分（津市作成の元気アップ運動）

当センターでは、介護予防への取り組みとして、地域の老人会やサロンで健康教室を開催しています。

年間を通してたくさんの場所で開催していますが、現在6か所の老人会では、毎月定期開催しています。

内容は、1時間の教室で、毎回、健康講話30分と、津市作成の元気アップ運動を30分実施しています。

津市作成「わたしの元気づくり手帳」を活用



自宅でも継続的に運動ができるよう指導

津市作成の「わたしの元気づくり手帳」の中にこの元気アップ運動の方法が写真付きで紹介されているので、毎教室この手帳を活用し、自宅でも継続的に運動ができるよう指導しています。

体力測定の実施

- 平成25年から年2回（概ね半年に1回）体力測定を開始

目的

個別歩行機能評価を行う事で、筋力低下予防の意識づけを行う

平成25年からは、筋力低下予防の意識づけを行うことを目的として、年2回、歩行機能を評価できる体力測定の実施を開始しました。

体力測定方法

タイムアップアンドゴーテスト

Timed Up&Go Test (TUG)

運動器不安定症状の診断基準の一つ

(日本整形外科学会)

- ・ 下肢筋力
 - ・ バランス
 - ・ 歩行能力
 - ・ 易転倒性
- 評価

体力測定は、タイムアップアンドゴーテストを実施しています。

このテストは、運動器不安定症状を診断する基準の一つとして、日本整形外科学会が指定しているテストです。

下肢の筋力、バランス、歩行能力、易転倒性を評価することができます。

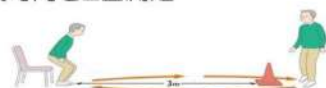
測定方法

椅子から立ち上がり

3mをできるだけ早く歩き

折り返してから再び着座するまでの

所要時間を2回測定



測定方法は、椅子から立ち上がり、3mをできるだけ早く歩き、折り返してから再び着座するまでの所要時間を測定します。

体力測定実施中の様子



これは実際に、テストを実施している際の写真です。

評価表

評価には、日本運動器科学会
「TUGテスト5段階性別年齢階級別評価表」を使用

年齢群	TUGのタイム					
	5	4	3	2	1	
	優れている	やや優れている	ふつう	やや劣っている	劣っている	
男性	60-64 (歳)	≤ 4.25	4.26~4.96	4.97~5.67	5.68~6.38	≥ 6.39
	65-69	≤ 4.53	4.54~5.02	5.03~5.86	5.87~6.89	≥ 6.91
	70-74	≤ 4.51	4.52~5.43	5.44~6.25	6.26~7.27	≥ 7.28
	75-79	≤ 5.10	5.11~5.88	5.89~6.79	6.71~7.89	≥ 7.91
	80歳以上	≤ 5.27	5.23~5.97	5.98~7.13	7.14~8.00	≥ 8.01
女性	60-64 (歳)	≤ 4.78	4.79~5.30	5.31~5.83	5.84~6.79	≥ 6.80
	65-69	≤ 4.81	4.82~5.36	5.37~6.03	6.04~6.86	≥ 6.87
	70-74	≤ 4.88	4.89~5.80	5.81~6.77	6.73~7.84	≥ 7.85
	75-79	≤ 5.41	5.42~6.04	6.05~7.08	7.09~7.97	≥ 7.98
	80歳以上	≤ 5.12	5.13~5.86	5.87~7.23	7.24~8.54	≥ 8.55

評価には、日本運動器科学会の5段階別評価表を使用しています。

参加者への反映

参加者には
評価記録用紙を
配布し、
前年度と比較



参加者には年度ごとに評価記録用紙を配布し、前年度と歩行機能を比較・評価できるようにしています。

5年間の体力測定データを評価

- ・評価期間
平成25年～平成29年の5年間
- ・対象
地域の老人会6か所の参加者122名
(男性22名、女性100名)
- ・平均年齢
78.0歳

今回、平成25年から継続して行ってきた、この体力測定データを、改めて評価してみました。期間は、平成25年から29年の5年間で、

評価対象は、地域の老人会6か所の参加者、男性22名、女性100名の計122名です。平均年齢は78.0歳でした。

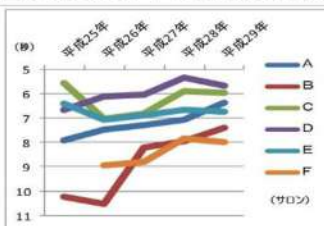
老人会別測定結果一覧

老人会	平均年齢	参加者(男女)	H25	H26	H27	H28	H29	5年平均
A	76.9	22(男2女20)	7.91	7.47	7.28	7.09	6.39	7.34
			1.6	1.8	1.9	2.1	2.1	1.9
B	80.2	18(男5女13)	10.2	10.5	8.23	7.96	7.41	8.88
			1.7	1.5	1.7	1.6	2.3	1.6
C	77.6	30(男6女24)	5.58	7.04	6.82	5.89	5.98	6.34
			3.8	2.8	2.9	3.3	2.6	2.9
D	75.6	16(男5女11)	6.66	6.11	6.05	5.35	5.69	6.60
			2.7	2.6	2.8	3.9	3.7	2.7
E	75.8	11(男0女11)	6.41	7.08	6.87	6.68	6.75	6.73
			2.7	2.4	2.8	2.9	2.5	2.7
F	82.4	25(男4女21)	8.94	8.82	7.84	8.01	8.40	8.40
			2.0	1.8	1.9	2.0	1.9	1.9
全体平均	78.0	122(男22女100)	7.36	7.86	7.34	6.80	6.70	7.38
			2.5	2.2	2.3	2.6	2.5	2.3

*上段=平均所要時間 下段=平均評価

この表は、6か所の老人会別の、年度ごとの平均所要時間と、平均評価の表です。

各老人会の平均所要時間



全老人会で、平均所要時間が**維持・向上**している

このグラフは、老人会別の平均所要時間を年度別にグラフにしたものです。ほとんどの老人会で、右肩上がりに平均所要時間が短くなっていることがわかります。

老人会のメンバーはほとんど変わっておらず、5年経過しているにもかかわらず、タイムは早くなっているんです。この結果には、実施している私たちも大変びっくりしました。

評価を行って

- 個別の身体的変化の確認となる
継続した個別歩行機能評価
- 参加者の運動意欲の維持
運動の必要性の自己認識の促進

↓
「体力測定を継続してほしい」

今回、5年間の体力測定データの評価を行い改めてわかったことは、体力測定結果を定期評価することで、個別の身体的変化の確認ができていただけでなく、参加者の運動意欲を保つことができています。参加者の方からは、「自分の身体を知るいい機会になるので、体力測定を継続してほしい」といった声もいただいています。

結果は地域にも還元



今回評価したこの結果は、年に数回地域に配布している当センターの機関紙、津中部南地域包括支援センターナビに掲載し、健康教室参加が介護予防につながることを、地域にも還元することができました。

全国研究大会で発表

年に1度開催している
全国地域包括・在宅介護支援
センター研究大会でこの測定結果を
発表

実は、この測定結果を、年に一度開催されている、全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会で、昨年発表させていただきました。

全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会

開催目的

- ・ 制度動向を学ぶ
- ・ 様々な地域課題や政策に即した地域づくりの実践を共有
- ・ 地域住民や関係機関等との連携のあり方や、これからのセンターが果たすべき役割について考える

この研究大会は、スライドに示した内容の目的で開催されており、様々な地域課題や地域づくりの実践を共有する場もありました。

第28回 全国地域包括・在宅介護支援 センター研究大会

- ・ 平成30年10月25日（木）
26日（金）
- ・ 場所：四日市都ホテル

毎年、全国各地を順番に開催されているのですが、去年はなんと、この研究大会が三重県で開催されました。

研究大会参加理由

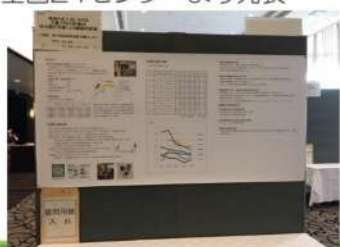
- ・シンポジウム以外にポスターセッション発表もあり

日頃の取り組みを発表する、絶好の機会！！

研究大会では、シンポジウムだけでなく、ポスターセッションで日頃の取り組みを発表する場もありました。当センターが日頃取り組んでいる活動内容を発表する、絶好の機会だと思い、この研究大会に参加しました。

ポスターセッション

- ・全国24センターより発表



ポスターセッションは、全国各地の24センターから発表があり、写真のような発表形式でした。

研究大会の様子



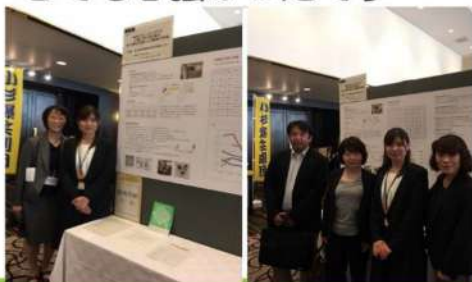
ご覧の写真が、研究大会当日の様子です。



たくさん質問や、取り組みに対しての賞賛のお言葉をいただきました

全国のセンター関係者から、たくさんの質問や取り組みへの賞賛のお言葉をいただきました。

法人あげての応援は
とても心強かったです



法人からも、ご覧の写真のように、他にもたくさんの職員が来てくださり、施設を上げて応援してくださりました。とても心強かったです。

全国に配られている冊子にも 載りました



実は、全国に配布されているこの研究大会報告の冊子にも載りました。後ろ姿ではありますが、ここに竹下次長、日高施設長、福本リーダー、宮内主任ケアマネが写っていました。

介護予防への取り組みを継続

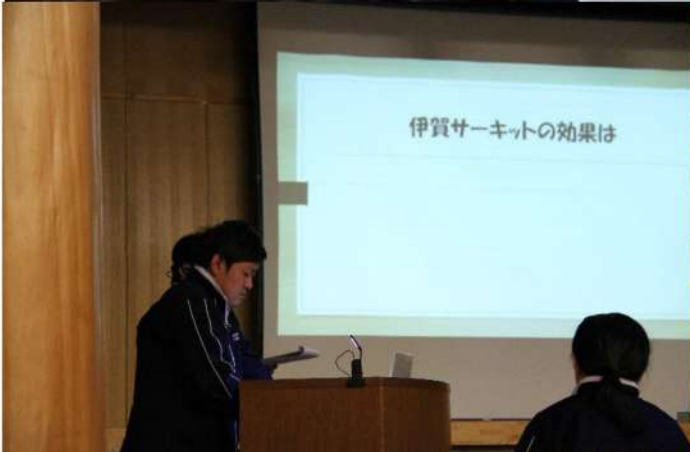
今後も、地域の高齢者が
住み慣れた地域で元気に
生活していくことができる
ように支援していきます

今回、この研究大会への参加に当たり、改めて体力測定データを評価したのですが、5年を通してどの老人会も所要時間が維持・向上できているとわかり、本当に驚きました。各老人会の参加者の方にもこの結果を反映し、大変驚きの声があがっていて、より介護予防への取り組みのモチベーションを上げていくことが出来る、良い結果となりました。今後も地域の高齢者の方々が、住み慣れた地域で元気に生活していくことが出来るように、地域包括支援センターとして、介護予防への取り組みを継続して支援していけたらと思っています。

ご清聴
ありがとうございます
ございました

伊賀サーキット ～動きの中に楽しみを～

伊賀総合通所介護センター



伊賀通所介護

びっくりでござるな

- 定員40名
- 登録者数約100名
- 管理者1名
- 生活相談員1名
- 看護師2名
- 機能訓練士1名
- 介護員9名



今回の発表では伊賀デイサービスで取り組んでいる「伊賀サーキットレク」についてご紹介します。伊賀デイサービスの紹介をさせていただきます。

定員は40名定員で、約100名の方が登録してくれています。管理者1名、生活相談員1名、看護師2名、機能訓練指導員1名、介護員9名の計14名で運営しています。

機能訓練内容

- 体操
- 起立訓練
- 滑車
- セラバンド
- マッサージ(あん摩マッサージ指圧師)
- 歩行訓練(平行棒)

個別機能訓練算定者70名

現在は登録者数の約7割のご利用者様が機能訓練を行ってくれています。しかし、大勢のご利用者様により良い機能訓練を提供するには機能訓練指導員1名では対応することが難しいという問題が浮かび上がってきました。

ご利用者様から...

- 「平行棒だけでは退屈」
- 「もうちょっと運動したい」
- 「楽しんで訓練したい」
- 「毎回内容が一緒でするのがめんどくさい」



等のご意見が...

実際にご利用者様からは「平行棒だけでは退屈」「もうちょっと運動したい」「楽しんで訓練がしたい」「毎回の内容が一緒でするのがめんどくさい」といったご意見をいただきました。

さかのぼること...

H30年4月の事業所会議にて
伊賀通所として思考

結論

レクリエーションの一環として
楽しく気軽に機能訓練が出来ないか？
そ・こ・で

それに対して、さかのぼること平成30年4月の事業所会議で議論を重ねた結果、「レクリエーションの一環として機能訓練ができないか？」という結論にいたり、伊賀通所として年間を通して取り組んで行こうという流れになりました。

伊賀サーキットトレーニングレク発案



※写真はイメージです

そこで発案されたのが「伊賀サーキットレク」という試みです。



この伊賀サーキットレクは機能訓練の要素と、レクリエーションの要素を合体させたものです。

サーキットトレーニングって？

- 比較的に小さい負荷の運動を何種類か組み合わせ休息をとることなく繰り返し練習する。全身の全ての筋肉や機能が運動に参加できるように**サーキット(循環)**をつくるのが要点である。
- サークットトレーニングの目的
日常生活に必要な筋肉を一人一人様の必要に応じて無理なく向上、または維持していくことを目標とする。

サーキット内容

- 1ヶ月(4週)のうち1週間行う。
- 大きく分けて腕・足・指先を使用するトレーニング
- レクリエーション化を踏まえタイムを競ったり得点をつけたりで競える環境を作り、やる気を促進。

(サーキット)という言葉が出てきましたが、これは(サーキットトレーニング)が元になっています。

では、サーキットトレーニングとはどういうものか。

普通のトレーニングとは違い大きな負荷を身体にかけるのではなく、小さい負荷をかけるトレーニングを連続して行うことです。そうすることで、広い範囲の筋肉や機能を使うことができるというトレーニングになります。

つまり、サーキットトレーニングを通じて日常生活に必要な筋肉や機能をお一人お一人様の必要に応じて無理なく向上、または維持していくことは通所介護の目的にも合致するのです。

次にサーキットの内容の簡単なルールとしては一カ月のうちに一週間行う。週替わりで一つのレクリエーションを提供しているためです。

次に大きく分けて腕・足・指先を使うトレーニングであること。

最後に、ただトレーニングを決められた回数行うだけではなく、やる気を促進するためにタイムやスコアを競えるような環境を作る。

この3つが基本的なルールとなっています。

サーキットメニュー

どんなメニューがあるか

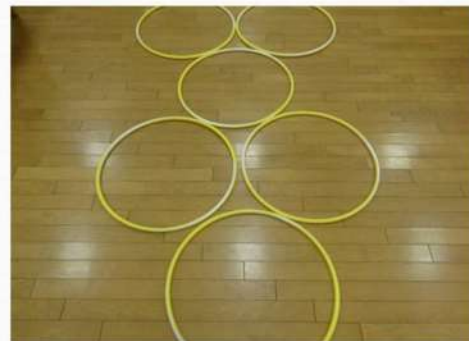
腕



簡単な内容の紹介ですが、腕のトレーニングでボールを左右に動かす、そしてチューブトレーニング

その②

足



足のトレーニングでチューブトレーニング、フラフープを使ったけんけんぱ

その③

指



指のトレーニングでペットボトルを掴む、ピンポン玉等を箸で掴むこれらを数種類組み合わせさせて頂いておこなっております。

伊賀サーキットの効果は

- たのしく出来たという意見
- 広いホールを使って開放的
- ご家族様の連絡帳の返事が増加

ご利用者様家族との関わりが増えたり、ご利用者様から好評頂くといい効果があがっている。

では実際にこれらの内容を行ってご利用者様の反応としては「楽しくできた」「いつもより広い場所やから気持ち良い」また、連絡帳でご家族様とやり取りを行っていらすが、ご家族様からの返信率も増えてきているため、満足度の増加という効果は実際に出ています。

ま・と・め

伊賀サーキット



ご利用者様の満足

今後の目標…

機能訓練だけではなく他の日々の業務に対してもご利用者様の満足に繋がれるようなサービスを提供していくこと。

今回はプログラム通りの機能訓練へのご利用者様からの訴えを取り入れ、目的を持って行ってもらうことでレクリエーションと機能訓練に幅を持たせることができ、ご利用者様の満足度の上昇に繋がりました。

今後、機能訓練だけではなく他の日々の業務に対してもご利用者様の満足に繋がれるようなサービスを提供していくことを目標にしています。



ご清聴

ありがとうございました



のんちゃんで行う ターミナルケア

～家族の笑顔に囲まれて～



訪問看護ステーション鈴鹿シルバーケア豊寿園
岩本 麻子



ターミナルケアとは？

死を目前にした人のQOL（生活の質）の向上を目指すケア

残された時間を
充実したものにしよう！



ターミナルケアとは、余命わずかとなった方が、穏やかに過ごすために行われる、医療・看護・介護のことであり、ケアを受ける方が自分らしく過ごせることが何よりも重要となります。

在宅におけるターミナルケアでは、住み慣れた自宅で、死を目前としたご本人とその家族にできる範囲の中で、

在宅でのターミナルケア

「よりよく生きること」を支援



「納得と満足のいく最期」

「よりよく生きること」を支援し、

「納得と満足のいく最期」を迎えられることが目標となります。わたしは、訪問看護師として働く以前は、総合病院の病棟で働いていました。

急性期の病棟で、何名かの最期に立ち会う機会がありましたが、振り返ると最期を迎える患者様ご本人の思いや、ご家族の思いを聞くこともなく、また、寄り添うこともなく、

業務の一つとして最期のお見送りを行っていたように思います。そのため、数名の最期の立ち会いしか記憶に残っていません、そして、そのどれもが決して良い最期ではなかったように思います。

病院での看取り

業務の
流れの一つ

私の勤務中に
亡くなりませんように…



訪問看護師となって3年。様々な方と出会い、在宅でのターミナルケアや、お看取りをおこなう中で、在宅で最期を迎える方はとても穏やかな表情をしてみえます。また、ご家族もお看取りを行ったあとは、達成感や満足感を得られているように感じます。



穏やかな最期を迎えるには??

ご本人とご家族に
納得と満足のいく最期を
迎えてもらうには??

穏やかな最期を迎えてもらうにはどうすればいいのか、ご本人とご家族に納得と満足のいく最期を迎えていただくにはどうすればいいのか、病院ではすることができなかったターミナルケアについて発表させていただきたいと思います。

M様 85歳 女性
胆管癌末期状態
H30年4月7日～ 訪問診療開始
4月9日～ 訪問看護開始

昨年4月胆管癌末期状態のM様の訪問が始まりました。M様の自宅にはひ孫様である2歳ののんちゃんがいきました。のんちゃんはM様が大好きで、わたしたちが訪問している間もM様から離れません。

M様はほぼ会話ができない状態でしたが、のんちゃんにはとてもよく反応してくれていました。



のんちゃん 2歳

ひいおばあ
ちゃんが
大好き!!

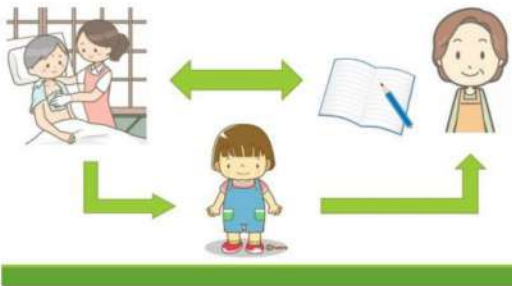


そこで、私たちは、のんちゃんも巻き込んだ訪問看護を行うことにしました。



のんちゃんの役割
 ☆一緒に身体を拭く
 ☆オムツを捨てに行く
 など…

訪問時はのんちゃんにもM様の体を拭いてもらったり、オムツを捨てる役割を任せることにしました。のんちゃんは、まだあまり話はできませんでしたが、とても積極的に関わってくれました。M様ものんちゃんを見ると声をかけたり、わたしたちの声掛けではなかなか開かない目も、のんちゃんの呼びかけで開眼してくれることもありました。



キーパーソンは娘様でしたが、娘様は仕事をしており、わたしたちの訪問時間は不在でしたが、わたしたちの行うケアを、のんちゃんが真似をすることで、伝えてくれていることもありました。もちろん、連絡ノートを作成し、娘様とはノートでやりとりを行いました。こうしてのんちゃんを巻き込んだターミナルケアを行い、余命1週間から10日と言われたM様は1か月自宅で過ごすことができました。亡くなる2日前には「伊勢うどん」が食べたいという訴えがあり、娘さまは無理ですよとあきらめていましたが、風味だけでも感じてもらいましょうと、ほんの少しですが味わっていただくことができました。M様の願いをかなえることができ、娘様はとても満足そうでした。

5月10日 AM3:30

娘様が手を握られている時に静かに呼吸停止

AM8:05 主治医にて死亡確認

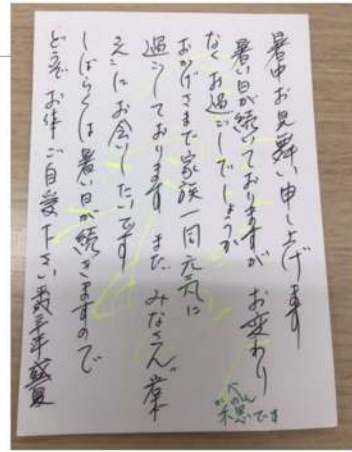
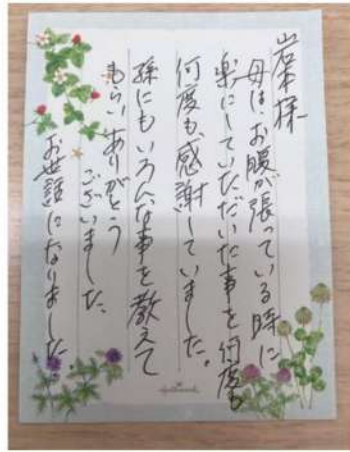
その時のんちゃんは…

青いおもちゃの聴診器をM様の胸に当て、死亡確認をしてくださいました。



5月10日、娘様が寄り添う中、M様は静かに息を引き取りました。主治医にて死亡確認後、なんと、のんちゃんは、自分の持っていた青いおもちゃの聴診器をM様の胸にあてていたそうです。M様との別れは悲しいものではありませんが、家族が笑顔になった瞬間でした。

～グリーンケア～



亡くなられて1週間が経過した頃、M様のご自宅を訪問させていただきました。グリーンケアと言い、近しい人と死別した人が悲嘆から立ち直る過程を支援する取り組みです。ご家族はM様のお話をしていると涙を流されることもありましたが、自宅で最期を看取ることができてよかったという言葉がきかれました。その表情はとても穏やかで達成感が満ちていたように思います。もちろん、その場にのんちゃんもいたのですが、のんちゃんは葬儀の時にペットボトルのお茶を持ちながら、陰部洗浄のまねをしていたと娘様が笑いながら話をしてくださりました。

ペットボトルで陰部洗浄をすることが当たり前となっており、のんちゃんが真似をすることが想定外で申し訳なく思いつつも、M様が亡くなったあとも、笑顔で過ごされていることに安心することができました。

まとめ

- ・M様が大好きなのんちゃんとケアを行うことで、よりよいM様の反応が得られた。
- ・のんちゃんを通して、早期から家族との信頼関係を築くことができた。

納得と満足のいく最期

亡くなられて1週間が経過した頃、M様のご自宅を訪問させていただきました。グリーンケアと言い、近しい人と死別した人が悲嘆から立ち直る過程を支援する取り組みです。ご家族はM様のお話をしていると涙を流されることもありましたが、自宅で最期を看取ることができてよかったという言葉がきかれました。その表情はとても穏やかで達成感が満ちていたように思います。もちろん、その場にのんちゃんもいたのですが、のんちゃんは葬儀の時にペットボトルのお茶を持ちながら、陰部洗浄のまねをしていたと娘様が笑いながら話をしてくださりました。

ペットボトルで陰部洗浄をすることが当たり前となっており、のんちゃんが真似をすることが想定外で申し訳なく思いつつも、M様が亡くなったあとも、笑顔で過ごされていることに安心することができました。

人を見る



訪問看護は

「人を見る」ことができる仕事だと思います。病院勤務時は「病状」しか見れていなかったことを反省し、ご利用者様がよりよく生きるための支援ができる訪問看護師を目指していきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました



余暇支援

～充実した休日を過ごしていただくために～

伊賀地区 障がい事業部

大山 恭弘 中原 克昌



余暇支援とは・・・

余暇活動を
支援する

障がい事業部は「余暇支援」をテーマに発表させていただきます。よろしくお願いいたします。余暇支援とはご利用様の余暇活動がより良いものになるように支援することです。

近年、余暇支援の重要性に注目が集まっています。障がいを持つ方が家庭や地域で充実した余暇を過ごす為の支援方法について様々な模索が続けられています。

障がい事業部では余暇支援を平成29年8月より月に1回休日に開催しています。休日の施設開放によるご利用様の満足度の増加、ご家族様の介護負担の軽減、事業所としては余暇支援という他の事業所にはない強みを持ち、ご利用様の社会参加の機会の増加や新規ご利用者様獲得つなげるため始めさせていただきました。

活動内容紹介



活動内容の紹介です。



午前中
サンドイッチ作り

午後から
公園でピクニック

きらめき工房いがの余暇支援の一つです。ご利用者さまと職員が協力をして、きらめき工房あやまの食パンを使用し、サンドイッチ作りに取り組んでいます。午後からは出来たサンドイッチを持ってピクニックに出かけました。なかなか家庭では包丁や火を使う機会はない為、食事作りは新鮮であり、「自分で何かを行い、成功を体験できる」参加型の余暇支援は好評を得ています。また家庭でお手伝いをされる方も増え、日々の生活の意欲の向上につながっています。



防災センター
見学

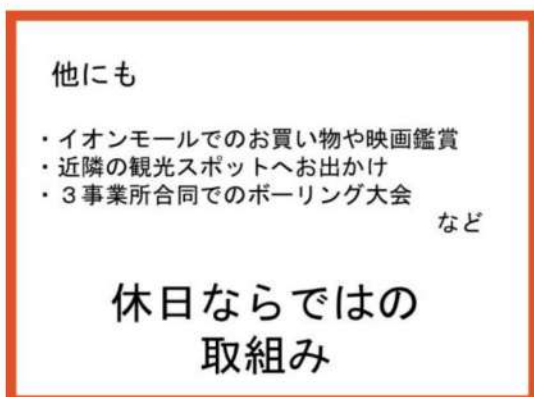
In 伊勢市

工房楽々あやまでは、非常時にご利用者様の安全と生命を守るための防災訓練を兼ねた余暇支援で伊勢市防災センターへ行きました。映写技術を使った消火体験や煙が充満している中での避難体験などに参加していただきました。楽しみながらも地震や火事の恐ろしさを学ぶことができ、それ以降の避難訓練の際はより真剣に取り組んでくださるようになりました。また非常用の用具や非常食の使い方のレクチャーを学ぶことができ、楽々に帰ったあとも、ご利用者様から「非常食はどこにあるの？」



「地震の時は楽々にきたらいいの？」と質問もあり御利用者様、職員ともに良い刺激になり単に社会参加というだけでなく、災害時の意識の向上という得ることの多い、余暇支援になりました。

地区の体育館を利用し体力測定を行いました。運動の機会の提供やご利用者様の健康の増進につなげていけるプログラムも提供させていただいています。

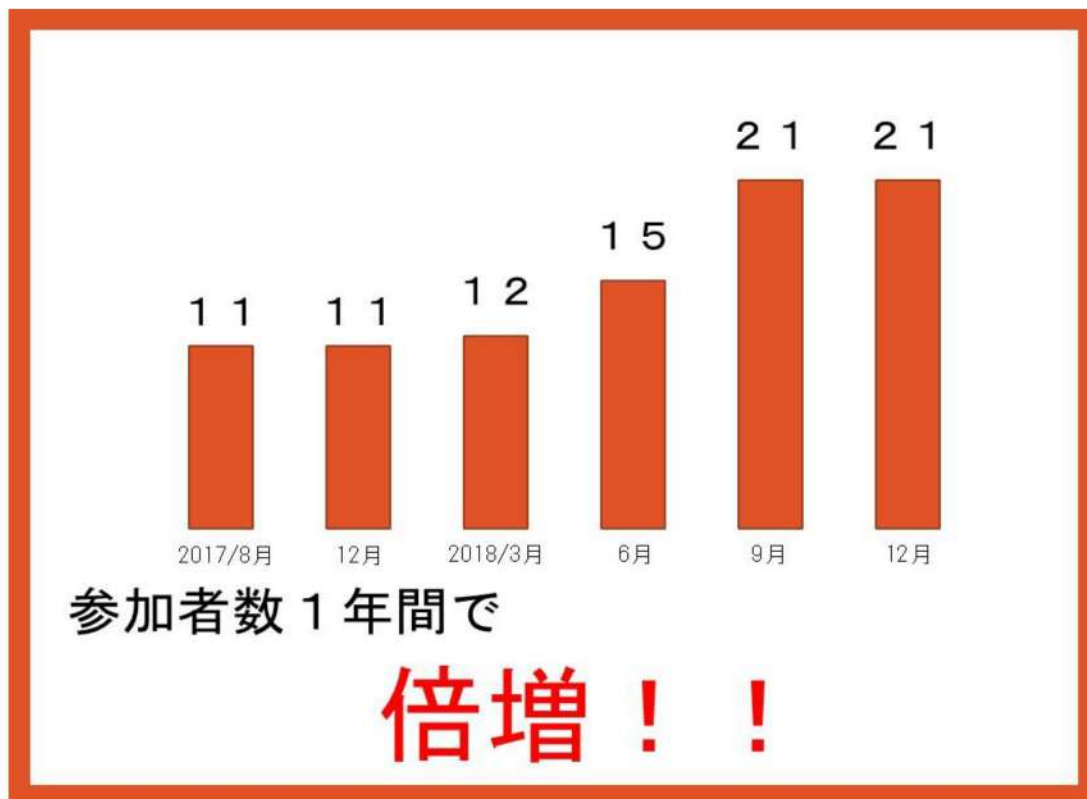


他にも

- ・イオンモールでのお買い物や映画鑑賞
- ・近隣の観光スポットへお出かけ
- ・3事業所合同でのボーリング大会 など

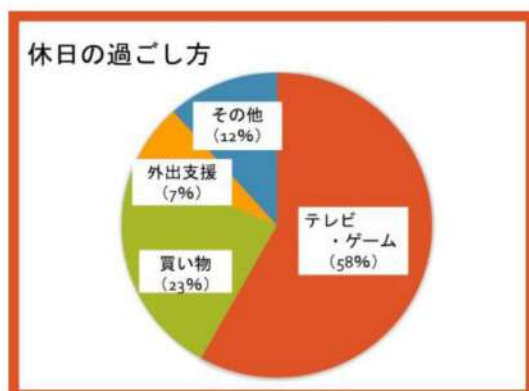
休日ならではの
取り組み

他にも鈴鹿ベルシティなどに遠出を行い、ご利用者様に過ごし方を選んでいただく、ご利用者様主体のプログラムも行っています。また3事業所合同でボーリング大会も行いました。御利用様も普段会う機会のない方と交流ができ、「楽しかった」「元気そうやった」という意見を多く聞かせていただきました。これからも障がい事業部では3事業所が一体となり休日ならではの取り組みを行い、ご利用者様に喜ばれ、施設として選んでいただけるようなプログラムを提供できるようにしていきたいと思えます。

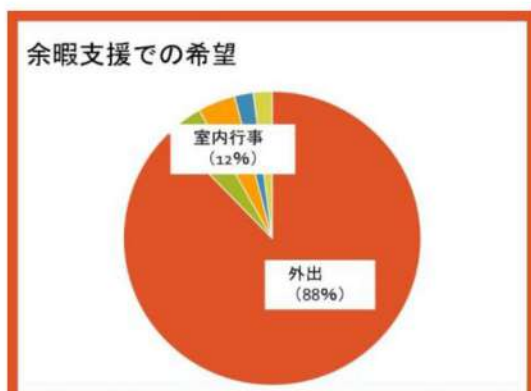


グラフはきらめき工房いがの参加者数の変化です。徐々に参加者数が上がり開始当初より約2倍にアップにしています。また工房楽々あやまでは余暇支援が楽しみで、その日を希望して利用されている新規の御利用者様がいます。「余暇支援で新規のご利用者様獲得」という目的が一つ達成されています。

また余暇支援を始めたことでご利用者様に生活のハリがうまれ、日々の作業への意欲も高まりました。余暇支援の中でご利用者様と職員の信頼関係がより深くなりご利用様の今まで見せてくれなかった面や、自己実現に向けた気持ちや様々な悩みや伝えてくれることが多くなり人間関係のトラブルの解消や日々の満足度向上につながっています。



次にご利用者様の休日の過ごし方ですが、アンケートの結果によりますと半数以上のご利用者様が自宅でテレビやゲーム等外に出る事なく過ごされています。



次にご利用者様のご希望ですが、外出の機会が少ないためか屋外での活動に人気集中しています。内容としては買い物、ボーリング、カラオケなどを希望される方が多くみられました。屋外プログラムにおいて電車やバスの乗り方や地域との行事の連携など地域社会との関わり、社会体験が経験できるプログラムを提供していく必要があると思われます。

これからの課題

- ・ 冬場、外出が出来ない時楽しんでいただける活動
- ・ 内容のマンネリ化
- ・ 月に1回から回数を増やしたい。

これからの課題としては、冬場は外出を控える必要がある為、室内でもご利用者に満足していただけるようなプログラムを考えていかなければなりません。

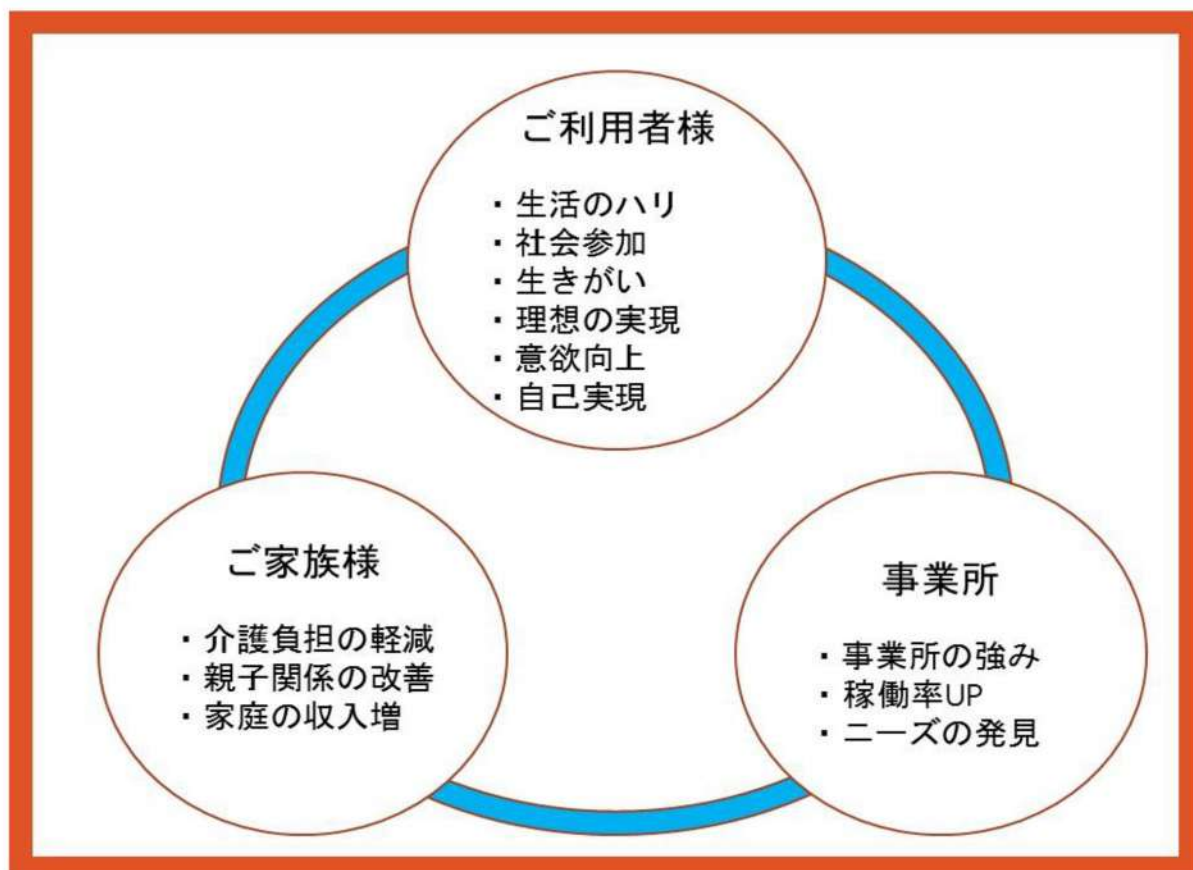
また内容のマンネリ化も起こりうるため、ご利用者の新たなニーズの確認を行い、内容を考慮して魅力のある余暇支援を続けていくことが大切だと考えています。

現在余暇支援は月1回であるがご利用者様やご家族様からの要望もあり回数を増やしていくように検討していきたいと思っています。ただしそれを行うには市より支給決定されている日数がオーバーしてしまう方もいらっしゃる為、日中一時のサービスの追加契約など特定相談支援事業所との連携も必要であります。

全てのご利用者に満足していただく為には、障がい特性が一人一人違う中での支援が必要であり、個別対応も必要に応じては考えていかなければなりません。

障がいの方にとって充実した余暇を過ごすことは、生活の質を向上させるために欠かすことのできない要素です。余暇支援は楽しく1日を過ごすだけでなく、自立やスキルアップに繋がる有意義な活動となっています。

障がいの方にとって充実した余暇を過ごすことは、生活の質の向上させるために欠かすことのできない要素です。余暇支援は楽しく1日を過ごすだけでなく、自立やスキルアップに繋がる有意義な活動になっています。



余暇支援を始めたことでご利用者様、ご家族様、事業所ともにこのような良い効果が生まれています。回数を重ねるにつれてご利用者さまから喜びの声やご家族様からの感謝の言葉をいただきました。

今までご利用者様が体験することができなかったことを、経験として学べる環境作り、地域社会の一員として生活していける社会の実現を目指して余暇支援に取り組んでいきたいと思えます。

買い物や映画に出かけること、趣味や娯楽を通して地域の方と接することは、同じ地域の生活者としてとても重要であることを認識しながら支援にあたっていくことが大切だと思えます。

ご清聴ありがとうございます
ございました

地域を元気にする 治療院を目指して

はり灸治療院

Rela station

リラステーション

はり きゅう あんま マッサージ



はり灸治療院 リラステーションは、
2018年5月22日に
高茶屋鍼灸院を事業拡大して
ポルタひさいにリニューアルオープン！
しました（＾＾）v



はり灸治療院
Rela station
リラステーション
はり きゅう あんま マッサージ

はり灸治療院リラステーションは、2018年5月22日に、高茶屋鍼灸院を事業拡大して、リニューアルオープンしました。

院内



はり灸治療院
Rela station
リラステーション
はり きゅう あんま マッサージ

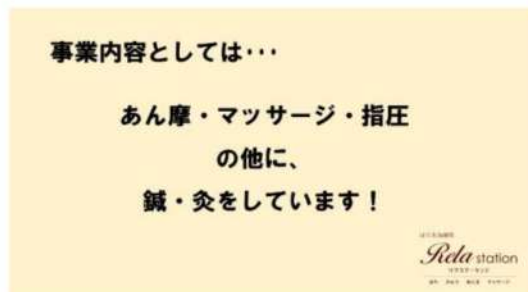
院内はこのようになっています。



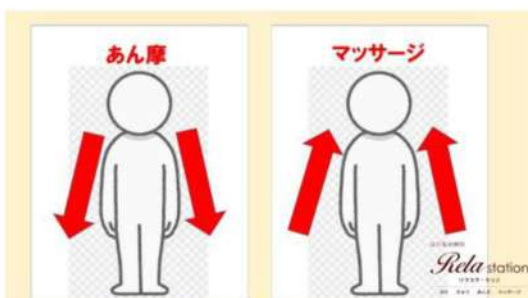
看板が昨年11月に付きました！



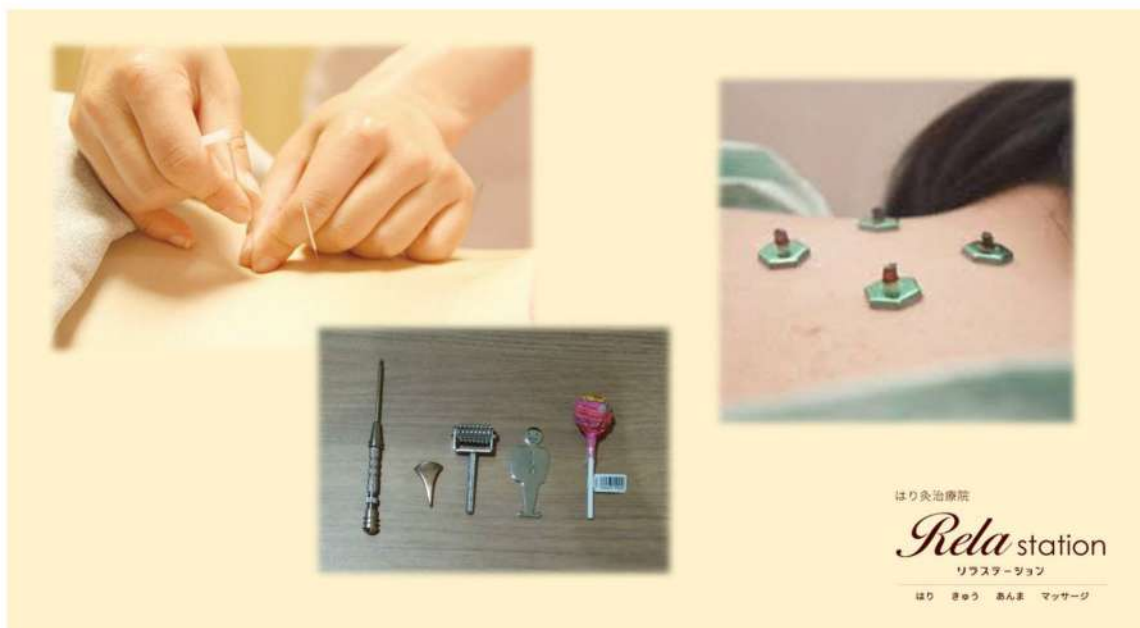
オープン時より、毎月ブラックボードを更新しています。毎月、楽しみにしてくださる方もみえるので、遣り甲斐があります。



事業内容としては、あん摩・マッサージ・指圧・鍼・灸をしています。



ところで、みなさんは「あん摩」と「マッサージ」の違い。ご存知でしょうか。「あん摩」は体幹から末梢へ。「マッサージ」は末梢から体幹へ流していく、という違いがあります。



こちらは、「鍼」「灸」「小児鍼（刺さない鍼）」です。
今日は、実物を持ってきました。展示コーナーに展示しておりますので、休憩の際に、ぜひご覧ください。

どういう患者さんが来院しているの？

- ・肩こり、頭痛
- ・腰痛
- ・膝痛（変形性関節症）
- ・五十肩
- ・ヘルニア
- ・脊柱管狭窄症
- ・頸椎症
- ・坐骨神経痛
- ・腱鞘炎



こちらは現在、実際にリラステーションへ通院されている患者さまの症状例です。

これらの症状は、みなさんも想像がつくのではないのでしょうか？

- | | |
|-----------|-----------|
| ・顎関節症 | ・肋間神経痛 |
| ・冷え性 | ・パーキンソン病 |
| ・ストレス | ・脳梗塞後遺症 |
| ・耳鳴り | ・延髄梗塞後遺症 |
| ・夜間頻尿 | ・胃腸の調子が悪い |
| ・喘息・咳嗽 | etc... |
| ・アレルギー性鼻炎 | |



その他に、このような症状もあります。意外に思われるであろう症状です。「痛み」以外にも、内科系疾患にも対応できます。

脳梗塞後遺症などは、主に麻痺側の筋拘縮の予防にマッサージを行なっています。



たくさんの患者さまに喜んでいただいています。



往診もしています。こちらは、ケアハウスの患者さまです。ケアハウス以外にも、ケアマネジャーさんに担当のご利用者様を紹介していただき、往診しています。ご自宅で治療が受けられると、皆さまに喜んでいただいています。



法人職員の福利厚生もあります。実費分の1割が戻ります。

洗心cafe、スズカフェ、萩祭り・・・ 各種行事へ出張！

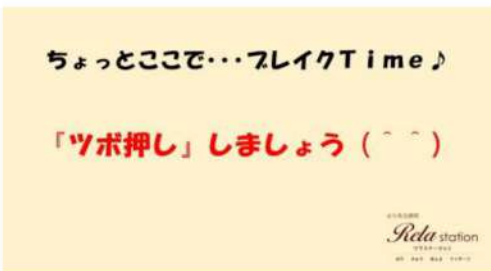


はり灸治療院
Rela station
リフステーション
はり 灸 治療 院 鍼 灸 師 会

その他、洗心caféや、スズカフェ、萩祭りなど、様々な行事に参加させていただいています。



毎週、ブログも発信しています。みなさん、見ていただいていますか？パソコンからもスマホからも閲覧可能です。



では、みなさん。聞いてばかりも疲れま
すので、少し休憩しましょう。
ツボ押しタイムです！



今回、ご紹介するのは『鼻通』です。
花粉症でお困りの方が多いと思いますので、鼻づまりに効果のあるツボをご用意しました。

では、親指をあごに引っ掛けて、中指で押します。外回りに円を描くようにグルグル押しと効果的です。刺激が強いと感じる方は、ゆるめに押してあげてください。



これから目指すところとして、「紹介で広がる治療院」「『治す』治療院」です。

紹介で広がる治療院！『治す』治療院！



法律により、料金を
外へ表示する
ことができません！

※近々、HPへの料金記載も
禁止となります。

はり灸治療院
Rela station
リラクゼーション
はり きゅう あんま マッサージ

「外から料金が分からないので入りにくい」という声はとても多いです。しかし、あはき法という法律で料金を外へ表示することは禁止されています。近々、HPへの料金表示も禁止となります。今日は特別に料金表を持ってきました。先程、紹介した鍼と一緒に展示しております。料金表をお渡しすることはできませんので、ぜひこの機会にご覧になってください。

法律に縛られまくりの治療院。
その使命は『治療』をすること！

では、毎のリラクゼーションサロンとの違いは？

Rela station
はり灸治療院

なぜ、このような縛りがあるのかというと、国家資格のもと仕事をしているからです。料金表示ができるのは、民間のものだからです。では、ちまたのリラクゼーションサロンとは何が違うのでしょうか。

治療＝けがや病気を治すこと。
病気を治癒させたり、
症状を軽快させるための行為

リラクゼーション＝緊張を緩めること。
精神的均衡を取り戻すこと。
くつろぎ、息抜き

(共にWikipediaより) *Rela station*

それは、患者さまに対して行う行為の違いです。私たちは、リラクゼーションではなく、『治療』を行っています。

『この症状を何とかしたい！』

↓
症状の治癒または軽快



Rela station
はり灸治療院

ですので、「この症状を何とかしたい！」という患者さまに対して、私たちは治療を行い、その症状の治癒、または軽快をしなければなりません。そして、それができて初めて、信頼が生まれ、口コミや紹介へと繋がると考えています。紹介は、一番説得力がある宣伝媒体となります。

その他には・・・

Rela station
はり灸治療院

地域貢献（往診範囲の拡大）



はり灸治療院

Rela station

リラステーション

はり きゅう あんま マッサージ

地域貢献として、往診に力を入れていくことです。
先日、サービス付き高齢者向け住宅つみなみシルバーケア豊壽園の方へ体験治療に行ってきました。

地域行事への参加



はり灸治療院
Rela station
リラステーション
はり きゅう あんま マッサージ

治療院以外にも活動の場を広げます。
先日は、津シティマラソンのコンディショニング活動に行ってきました。
また、成美地区の市民向けサロンでは、「カゼ予防に効くツボ」の紹介をしました。

職員の健康維持



はり灸治療院
Rela station
リラステーション
はり きゅう あんま マッサージ

そして、洗心福祉会で働く職員のみなさんの健康維持にもお役に立てたらと考えています。
職員のみなさまのご来院もお待ちしています。

ありがとうございました（＾＾）



みなさまのお越しをお待ちしています!!

はり灸治療院

Rela station

リラステーション

はり きゅう あんま マッサージ

チャレンジタイム

保育事業部 豊野保育園



40周年を迎えた豊野保育園

ここから始まりました



今の豊野保育園です



洗心福祉会の先駆けである豊野保育園は、みなさんご存知のように40周年を迎えました。平成27年には新しい園舎へと移転し、3年が過ぎようとしています。現在、園児は114名。この3月には、19名の子どもたちが卒園を迎えます。

保育事業部理念

『心身ともに健康で安全に過ごせる環境の下
子どもたちに夢と希望を育む保育』

理念を軸とし、保育の中で大切にしていることの中に…

- きちんと挨拶ができること
- 気持ちを伝え、思いやりの心が持てるように
- 人の話を静かに聞けるように
- 物を大切にする

保育事業部の理念である

「心身ともに健康で安全に過ごせる環境の下、子どもたちに夢と希望を育む保育を目指す。」を常に軸として、子どもたちが、楽しく保育園生活が送れるように努めてきました。

0歳児からの一貫した保育

遊んだあとは、おかたづけ



「はいはい！
おかたづけ上手
かなー！」

園児上手に
たのめよう！

音がえたら、たたんでから
しまいます



また、「おはようございます。」「こんにちは。」「きちんと挨拶ができることや「ありがとう」「ごめんなさい」と気持ちを伝え思いやりの心を育むことを大切に、0歳からの一貫した保育ができるようにしています。



使った後は、ちゃんと並べて

お話を聞くときは前を向いて静かに



人として、忘れてはいけない大切なこと

小学校1年生の現状・・・

○ 保幼小交流会など、小学校との連携を図って行く中で

学校の先生や保護者からの声



静かに話が聞けない
子が多い・・・

じっと座っていられな
い子が増えてきた

ずっと、座って勉強できる
か心配・・・

◎ 保育園の子どもたちの姿が小学校へとつながり
楽しく生活が送れるように

◎ 5歳児のあるべき姿を確認しながら、遊びの中
で楽しく取り組めるもの

『チャレンジタイム』

基本的な生活習慣の確立

- ☆前を向いて姿勢良く座る
- ☆静かに人の話を聞く
- ☆手を上げて発言する

3歳児からの繋がった日々の教育が大切

遊んだおもちゃを片付ける・物を大切に
する ・洋服をたたむ ・スリッパをなら
べる

人の話を静かに聞く 等々これらのこと
は、子どもたちが大きくなり社会で生活
していく上で、忘れてはいけない大切な
ことと考えています。

年長児となり、保幼小の交流会など、小
学校との連携を図っていく中で、学校の
先生方や、卒園した保護者の方から、今
の小学校1年生の現状が聞こえてきまし
た。

「静かに話が聞けない。」「授業の間、
座ってられない子が増えてきた。」

保育園で、子どもたちに大切なこととし
て、ずっと伝えてきたことを小学校へと
繋げていくにはどうしたらいいのだろ
う・・・。

何とかしていかないと！

小学校に入学したときに、この保育園に
いる子どもたちが困らないように、そし
て何よりも楽しく小学校生活を送れるよ
うに、5歳児のあるべき姿を確認しなが
ら、遊びの中で楽しんでできるものはな
いかと考え、辿り着いたのが「チャレン
ジタイム」です。

前を向いて姿勢よく座る事
静かに人の話を聞く事
手を挙げて発言する事

これら、基本的な生活習慣の確立は3歳から繋
がった、日々の教育が大切になってきます。

3歳児 線のおけいこ



4歳児 文字のおけいこ



鉛筆を正しく持ち、姿勢よく座るようにしています。そして、しっかりとした筆圧で線が描けるように一人ひとりに教えます。3歳児から少しステップアップし、自分の名前を書いています。4歳児も正しい姿勢で、集中してしっかりと取り組めることを大切に、少人数で行っています。どの子もやる気満々！鉛筆をもって書くことが嬉しくて、楽しく取り組んでいます。

5歳児 チャレンジタイム



そして、5歳児、「チャレンジタイム」が始まります。これは、チャレンジタイムで子どもたちが使っている教材です。



小学校の教室みたい

以前、文字のおけいこでは、一つの机に数名で座りグループで一緒に取り組んでいたのですが、「チャレンジタイム」として初めてからは、小学校の授業の様にホワイトボードを前にして机を並べ、みんなが前を向いて座るようにしています。



リーダーが、先生となって
行っています。



そして、教えるのは担任ではなくリーダーの先生。あえて、いつもと違う雰囲気の中で出来るようにしています。そして「チャレンジタイムをはじめましょう」と、みんなの元気な声で始まります。



絵カードはみんなと一緒に読んだり、手を挙げて一人で発表したり、テキストプリントは個人のもので、各々で取り組みます。リーダーや担任が個々に応じて指導や声掛けをします。



全部できたら、先生に「よくできました！」のスタンプを押してもらって、最後は自分で頑張ったシールをはります。とっても嬉しそうですよ。



プリントは自分でファイルにとじていきます。そして、消しゴムのかすも、きちんと集めてごみ箱へ。これもとても大切なことです。

チャレンジタイムをした日はファイルを持ち帰ってお家の方に見てもらい、印鑑を押してきてもらっています。「がんばったね!」と、お母さんや、お父さんに褒めてもらうのが、子どもたちは、何より嬉しくて、そして、やる気が湧いてくるのです。



自分のテキストは、自分でファイルに閉じます



消しゴムのかすは集めてゴミ箱へ

また、お家で見ってもらう事で、親子で一緒に話をしたり、楽しい時間を過ごすきっかけにもなっています。「子どもがすごく喜んでいるけど、どうやって教えてもらってるの?」「どんな様子なのか見てみたい」との保護者からの声が多く、保育参観でその様子も観て頂きました。



保育参観のようす



6年間取り組み続けてきたことで、成果が！

卒園児の保護者や、小学校の先生から

最後まで、ちゃんと座って
聞けていて嬉しかった

「はい！」って手を上げて
発表していてびっくりした

ちゃんとこちらを向いて、
話を聞ける子が多いで
すよ

チャレンジタイムを行っているのは、豊野保育園
だけではありません。

保育事業部の全ての園が、同じように取り組み、
続けています。

チャレンジタイムを初めていく事になった折に
は、各園のリーダーが集まって、子どもたちが楽
しく興味をもって最後まで集中して取り組めるよ
うに、指導についての勉強会もしました。

そして、それを6年間ずっとずっと続けてきまし
た。

保育園を卒園し、小学校1年生へと入学した時、
卒園児の保護者からこのような声がありました。

「授業参観に行ったら、ちゃんと座って話を聞い
ていたのが嬉しかった。」

「はい！って、手を挙げて発表していてびっくり
した。」と。

また、小学校との交流会で、保育園の5歳児が授
業風景を見学した時に「1限目の勉強をはじめま
しょう。」「おわりましょう」とあいさつする場
面があり、卒園した子どもたちが、大きな声で
言っている姿を見ることができました。「ああ、
変わらず元気に挨拶ができてるなあ」と、うれし
い瞬間でした。

「ちゃんとこちらを向いて、話を聞ける子が多い
ですよ。」と小学校の先生から評価されること
もあり、ずっと取り組んでいたことは正しかっ

結果はすぐに出るものではありません。幼いころ
から日々の生活の中でこつこつと取り組んでいく
事で子どもたちに伝わり、身に備わっていくもの
だと思っています。

「三つ子の魂百まで」

人を育てていく上で、いかに乳幼児期が大切であ
るかということ、成長していく子どもたちの姿
を通し、強く感じています。

「三つ子の魂百まで」

いかに乳幼児期が大切か



これからも、今、子どもたちにとって大切なことは何かを感じ取り、どうしたら楽しんで取り組み、伝えることができるかを私たち保育士が心を一つにしてしっかりと考えていきたいと思えます。

大切な保育園の子どもたちが夢をもって成長していけるよう

地域に根差した
保育園を目指して
つまちなかこどもセンター



三重県初！！ビルの中の保育園 平成27年4月開園



平成27年4月、津市の中心にあるセンターパレスの中に、0から2歳児の地域型保育事業として、つまちなか保育園、3～5歳児を対象としたつまちなかキッズパレスが誕生しました。
三重県初のビルの中の保育園として注目を浴びています。

開園以来 地域との関わりを積み重ねてきました



開園以来、ビルの中の保育園と言うことで、進んで外へと飛び出し、地域の方と触れ合う機会を積み重ねてきました。

昨年度までの積み重ねを
更に活かすために
職員同士で話し合いました



これまでの積み重ねを活かして、今まで以上に園の存在を知ってもらいたいと、職員同士で話し合い、3つのことを頑張ろうと決めました。

プラスアルファ
+α ～一歩進んだ今年度の取り組み～

- 其の一) 地域に発信しよう！
- 其の二) 地域に飛び出そう！
- 其の三) 地域をきれいにしよう！

- 1、地域に発信しよう
 - 2、地域に飛び出そう
 - 3、地域をきれいにしよう
- です。

其の一) 地域に発信しよう!

①初の試み! ポスター掲示!



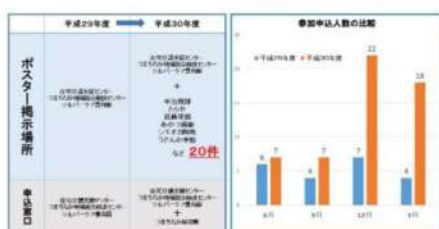
その1「地域に発信しよう」

その一つがポスターの掲示です。今では、貼って頂けるところも増えましたが、最初は断られることもあったんです。しかし、お願いしていくうちに、快く引き受けて頂けるようになってきました。これは、今年度配布したポスターですが、昨年度までのポスターに、大きく工夫を加えました。



ひとつ、見てお分かりになるように目を引くデザインにかえました。ふたつ、つまちなかこどもセンターでは保育園ということが分かりにくいと思い「つまちなか保育園」「つまちなかキッズパレス」に変えました。みつつ、地域に発信するにあたり、申込み先を保育園に変更しました。

左の表をご覧ください。



昨年度までは、つまちなか地域総合相談センターとの連携で老人交流会を開いていました。今年度は、連携を維持しながらも、園でもやれることはやろうと立ち上がり、職員が一軒一軒回った結果、20件も貼らせて頂けるようになりました。地域の方の目にとまる機会も多くなり、ひなまつり会には初めて電話での申し込みも頂けました。その中には、子育て世代のお母さんからの問い合わせもあったんですよ。

右のグラフでお分かり頂けるように、申込み人数も昨年度を上回り、後半は、地域の方が誘いあって来て頂いたことが、人数の増加につながっています。

③一体感のある交流会

＊お部屋を歓迎ムードに！



今年度初の取り組みとして、看板を作りました。まわりに子どもたちの作品をかざり歓迎ムードを演出しました。

＊交流会の様子



こちらは、交流会の様子です。肩たたきをしている写真がありますが、優しくたたいたり、腕をさすったりして、思いやりのきもちが育っている子どもたちです。おばあちゃんたち気持ち良さそうですね。



交流会の雰囲気も変わってきました。ひまわり会の方に教えて頂いた、レクダンスをみんなで楽しく踊っています。見て下さい。子どもたちと楽しく過ごすことで、おばあちゃんたち生き生きしていますよね。会場が活気に満ちて、一体感のある交流会となりました。また、地域とのつながりができたことにより、押し花教室や、二胡の演奏のご提案を頂き、子どもたちにとっても貴重な体験となりました。

つながった『縁』を大事にしていきたいと思います。

その2「地域へ飛び出そう」

其の二) 地域へ飛び出そう！

＊商店街のラジオ体操に参加！



＊商店街の方や地区には多くの程有量のめまどうも
一緒にラジオ体操に参加！

商店街では、一人の方が中心となって、毎日ラジオ体操が行われています。以前は挨拶をするだけでしたが、ある日、「一緒にさせてもらおう！」と輪の中に入れてもらったことをきっかけに、それ以来、毎日参加しています。子ども達が体操をしていると、自然と人が集まり、ラジオ体操の輪がひろがっています。

活動の場がどんどん広がって・・・



いっとうしょう体操やちびっこマラソンの場が観音公園に！



新しい公園見つけた！（地頭領公園）



会話を楽しむ機会が増えました！



観音公園では、今年度から、CDをもっていき、毎朝恒例の、いっとうしょう体操やちびっこマラソンもしました。楽しそうな音楽に、地域の方も立ち止まり、見守ってくれています。さらに今年は、新しく地頭領公園に行きました。散歩の途中には、挨拶だけでなく会話を楽しむ機会が増えました。

積極的に外に出ていくことにより、公共のものを大切にする気持ちが育ち、また地域の方から目を向けて頂けるようになったことで、地域との関係性も深まってきました。

其の三） 地域をきれいにしよう！



こんにちはー！

敷地内だけでなく、歩道の掃除も毎日の習慣になっています



その3「地域をきれいにしよう」 夕方、職員が当番制で外の掃除と見守りをしていますが、それに加え今年度から歩道の掃除も始めました。毎日続けることで、地域の方から、「ご苦労さん」と声をかけてもらう機会が増え、励みになっています。

また、職員総出で、清掃活動を行うようになり、特に、今年の台風では散らばったごみをセンターパレスの職員さんと協力して片付けました。園庭と駐車場の間には季節の花を植え、地域の方に楽しんでもらっています。



今年度の取り組みで得たものは、保育園の存在をより多くの人に知ってもらうことができたことです。保育園を知ってもらうことにより、地域の方と子どもたちの関わりも密になり、たくさんの方に守られ、支えられることにより自分たちが愛される存在であることを実感し、地域に親しみを持つようになってきました。



また、保育園の周辺はお年寄りの多い地域でもあり、子どもたちの存在が元気の源となり、お互いが助け合う関係になりつつあります。



来年度からは0～5歳児の保育園として新しく生まれ変わるつまちなか保育園。

今後は、今年度取り組んできたことを土台に、小学校との交流も含め地域ぐるみの活動をもっと広げていきたいと思えます。

お母さんからの問い合わせを頂いたこともあり、高齢者だけでなく、子育て世代も参加できる交流会や、商店街の人と一緒に楽しめるイベントを考えていきたいです。

地域の中で育てている子供たちだからこそ、将来地域とつながり、貢献できる大人になることを願っています。

そのために、地域の活性化の一端を担えるような、地域に根差した保育園に成長していけるように頑張ります。

ご清聴ありがとうございました



つまちなか子どもセンター

ONE WAKE RECITAL
SETSUGU COMMITTEE
2019

1>WAKE 発表会

職員 MVP / 職員模範行動事例

1つ WAKE AWARD 2019 職員 MVP

職員名	所属事業所	No
西井 健太	志摩シルバーケア豊寿園	121

職員 MVP



志摩シルバーケア豊寿園 西井 健太（中央）

受賞事例 (No.121)

人材獲得が非常に厳しい現実がある中、他力本願ではダメだという思いで、西井健太リーダーは以前から個人で採用活動をしてきています。それは、プライベートでどこかの飲食店等に入った時など、店員さんの愛想や所作、接遇面、テンションやキャラクターなどの様子を観察して、この人介護や福祉の仕事に向いていそうだと感じたら、『介護の仕事に興味無いですか？』と声を掛けてきています。その気概と勇気も本当にすごいですし、そうやって声を掛けた相手から返ってくる言葉が、『今、理学療法士の学校に通っているんです。この地域で就職すると思いますのでまたどこかでお会いしたらその時はよろしくお願いします！』とか、『保育士として就職先も決まっているんです。お声掛けありがとうございます。』とかがあり、西井リーダーのこの嗅覚がすごいと思いませんか？一緒に食事行ってもいつも、『あの店員さんのあの感じ、介護職に向いていると思いませんか？ご利用者と上手に接してくれて良い介護職員になりそうな気がするんですけど……。』とかをいつも言っています。常にそういう目線にいる彼の姿勢に感心しています。ありがとうございます。

	事業所	職員名	模 範 行 動
1	第二はなこま保育園	杉本 樹里 巾 敦子 鈴木 恵子	一時預かり事業は、半日単位で生後6ヶ月～就学時までの乳幼児を預かる事業です。毎日子供が異なる為、大変神経を使う仕事です。利用されるお子さんの人数はどんどん増え、2ヶ月先まで一杯でキャンセル待ちも沢山あります。理由はこの三人の先生方。いつも丁寧な保育をされ、保護者から安心、信頼されているのです。そして担当同士のチームワーク、又、園全体のチームワークでどんどん増えたと感じます。何ととっても、安心される保育は大切ですね。
2	伊賀ホーム	世話人の皆様	4月9日に伊賀ホームほほえみから笑家に引越しを行いました。3週間前から荷物等を整理し、要るものと要らないものを世話人さんにご利用者様に分けていただきました。しっかり仕分けをしていただいていたこともあり、スムーズに行う事ができ目に見えない世話人さんの努力に感謝です。当日も何も言わずに残っていただいて居室の整理もしていただきました。おかげで通所施設から帰ってきたご利用者様は大変喜んだことは言うまでもございません。
3	きらめき工房あおやま	大山 恭弘	先日きらめき工房あおやまの送迎を頼まれた為、余裕を持って1時間前に出勤すると大山支援員がちょうど一緒に到着されました。何か仕事が残まっているのかなと思っていたのですが、カーテン開けをされたり、ガラスを拭いたり他の職員が来るまで雑用をこなしてくれていました。大山支援員は手に障害があり、他の職員のように早く作業を進めることは出来ません。しかし自分でしかできない事を自ら作り実践しています。そのような行動は他の職員から信頼を得られ、良いチームワークに繋がっていくのだと感じました。
4	白塚訪問介護ステーション	森本 祐規	1月19日、栗真小川団地のご家族様からお礼の電話がありました。朝、要介護度5のご利用者様支援で活動中、そのお宅の子どもさんが昨夜から熱を出し病院受診先をスマートホンで探していたが中々見つからず焦っていた処、支援を終えた森本MMJ-が自らのスマートホンで手早く探してくれたお陰で早期受診ができました。義母の支援のみならず家族のことまで気遣って頂き感謝しております。よろしくお伝えください、との内容でした。業務時間中の電話使用に関しては疑問の残るところではありますが、焦っているご家族様の様子を見てその方の気持ちを察しての行動であり、ちょっとした気遣いが素晴らしく今後は仕事にも活かしてほしいと思い行動事例として挙げさせて頂きます。
5	津通所3事業	藤川 正行さん 向井 一之 ケドライバー	三重交通委託運転手、藤川正行さんと向井一之ケドライバーの行動を紹介させていただきます。以前にも紹介されておりましたが、藤川さんは朝早くに出勤されご利用者様が使用されるシルバーカーや車椅子などを準備し、その事が他の運転手さんにも良い影響を及ぼし今では当たり前の日課となっておりますが、その事を誰も心に思うことが少なくなったように感じます。ずっと継続しての取組みには感心しますが、先日、朝早くから自らが運転する車の掃除をされていました。声かけをすると、「お客さんに乗せる車なので綺麗にしないと失礼やし、綺麗にする事は事故防止の初歩的な基本や」と話されており、当たり前の事を継続できているプロ意識がとても新鮮に感じました。また、向井さんは交通事故防止も含め公用車の管理をこまめに行って下さり、「ここで骨を埋めるつもりで頑張ります」と藤川さんと同様、今までもそしてこれからも継続して取り組んでもらっていることに感謝し、紹介させていただきます。
6	経営企画室兼人事課	辰巳 なつみ	彼女はこの4月に事業所から法人本部に異動で配属されたわけですが、彼女の担う役割は、人材の採用活動をはじめとした人事関係が主ですが、それ以外にも法人の広報活動という大任も担っています。これまで学生時代に培ったデザイン等の技術や経験を活かし、人材採用に繋がる採用チラシの作成やホームページのブログを担当している彼女。そんな彼女のブログも、すでに4月から数えて3回以上投稿されているわけですが、法人の方針や考え方を、彼女なりに上手に咀嚼した文章と写真センスがとても輝きを放っています。ブログの作成については、その持続性やタイミングがとても重要となることから、誰でもそう容易にできるものではありませんし、もちろん得手もあるかと思えます。しかしながら、彼女はその使命を十分理解した上で、毎回形として表現してくれています。改めてその率直かつひたむきな姿勢に感心した次第で、こうした若い世代の活躍が、より一層法人を飛躍させるものと感じております。彼女の活躍に期待し、その才能と姿勢に対し、可能な限りバックアップできればと思います。

	事業所	職員名	模 範 行 動
7	高茶屋鍼灸院	木富 淑絵	皆様は高茶屋鍼灸院をご存知でしょうか。津市高茶屋の地域総合ケアセンター内に位置し、高茶屋クリニックの併設として事業を運営しています。その鍼灸院に新しく配属となった、はり・灸師の木富さん。近々予定されている鍼灸院のポルタク居への移転と、鍼灸院のさらなる展開に向けて配属された、期待の女性職員です。そんな彼女ですが、その鍼灸院移転に向け、職員を対象とした体験を兼ねた模擬練習を日々取り組んでいます。私もその体験をさせていただきましたが、その施術前後の声掛けはもちろん、その持ち前の愛嬌と会話の程よいテンポは、はり・灸初心者者の私もその緊張と不安を自然と和らげる安心感を与えてくれます。また移転に向けた会議の席でも、その専門性を活かした意見のほか、法人の考えや方針を加味した提案等とても積極的です。私たちが求めるこれからの鍼灸院には、こうした専門職の積極的な関わりが重要であり、かつ女性目線な視点等移転後の運営に向けて大変頼もしく感じています。既存のあんま・マッサージ師である安立さんとの未知なる化学反応と、今後の彼女らのパフォーマンスに大いに期待したいと思います。
8	志摩介護老人福祉施設	藤谷 喬介	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。藤谷喬介介護員は、普段の業務の中で、様々な頼まれ事に対して、『やります！』、『大丈夫です！』、『分かりました！』と常に前向きに気持ちよく引き受けて対応してくれます。本当にすごいと思心しています。
9	志摩介護老人福祉施設	小磯 和代	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。小磯和代準職介護員はいつも共に働く仲間の事を考えて仕事に取り組まれています。例えば、消耗品の補充なども他の誰よりも率先してしてくれていますし、勤務終了後にも面倒くさからずこまめにしてくれます。本当に助かっています。
10	志摩介護老人福祉施設	西井 健太	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。西井健太リーダーは自身が多忙な中でもいつも現場の職員が退勤する際は声を掛けてくれます。また、ただ声を掛けるだけではなく、その人の好きな話題や趣味を把握して話を振っているため、疲れている職員も笑顔になって退勤しています。なかなか一人一人の好みの話題を把握する事は難しい事だと思いますし、西井リーダーのお人柄に救われます。是非見習いたいと思っています。
11	志摩介護老人福祉施設	山本 恵美子	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。山本恵美子パートクリーンスタッフは、志摩特養開設初年度からずっと勤務されており、志摩特養の母的存在で皆から慕われています。どんなに忙しくても職員の話に耳を傾け、いろいろ手伝ってくれます。衣類の補修や清掃、片付けなど行動も早いので介護員はとても助かっています。
12	志摩介護老人福祉施設	柳生 多加文	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。柳生多加文ユニットリーダーは、4/27(金)17:50頃、夕食の配膳をしている際に、管理当直者が配膳台を回収しに来てくれた際、『ご利用者様に配膳するまで待って下さい。』と声を掛けて配膳していました。その姿を見て、普段の自分は配膳台を返してから配膳を再開しがちになっていたのが感銘を受けました。今一度初心に帰りご利用者様の介助にあたりたいと思わせてもらえる場面でした。

	事業所	職員名	模 範 行 動
13	志摩介護老人福祉施設	清水 夕海	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。清水夕海準職介護員は、いつもご利用者様への言葉掛けが丁寧で低姿勢、優しい言葉掛けをしています。どれだけ忙しくても笑顔で対応していて、ご利用者様が安心できる介助を行っていて、基本の事ながらそこまで丁寧な言葉掛けができるのはすごい事だと思います。また、ご利用者様の事を第一に考えて一緒に散歩に行ったり、外に桜を見に行ったり、皆様に楽しんでもらおうと自らレクリエーションを企画提案して実行したりと、いつも”笑顔で一生懸命な姿”を見て尊敬しています。
14	津中央ヘルパー ステーション	宮田 由佳	ある日の法人本部の出来事です。 法人本部の駐車場でひとり草むしりに勤んでいたのが彼女。話を聞くと、訪問介護の活動の合間の時間を利用して、少し前から気にかかっていた落ち葉を草等の清掃をしている最中でした。もちろん、その日の業務の合間であることと、且つ上司にも相談の上での行動でした。 何気ない行動かもしれませんが、実際にはなかなか行動に移すことは難しいと思います。そんな中でも、彼女の実直な想いから成したその行動にとっても感心したところですが、それと同時に、改めて初心を感じさせる瞬間でした。
15	ふたみ居宅支援センター	横山 健二	4月のある日ふたみ居宅内会議の最中、今年度から新しくケアマネジャーになったばかりの江尻さんが業務内容についての質問を投げかけました。会議の途中、来客や電話対応・議事作成など自身も落ちつかない中、離れた位置でそれを聞いた横山さんは、江尻さんの隣まで移動し隣でしっかりと顔を合わせ話を聞き的確に対応していました。ふたみ居宅支援Gに配属となりケアマネジャーとなって約1年、現在はブロックリーダーとして活躍中の横山さんですが、この1年間でケアマネジャーとしての彼の成長と、当たり前でなかなか出来ない今回のような事例は自身も見習っていかなくてはならないと強く感じ、とても印象的でした。
16	伊勢市東地域包括支援センター	山本 京	管理栄養士・ケアマネジャーとして平成29年4月からふたみ包括支援の中で生活支援コーディネーターとして役割をスタートし約1年の山本さんですが、地域の中でその存在感が増しつつあり、またその関係各所の方々との信頼関係も厚くなってきています。先日、地域の会議に一緒に出席した際にも、地域の方に声をかけ、またかけられと普段からしっかりした関わりができていたんだなという事を実感させられました。また、伊勢市役所高齢者支援課の方からも、『積極的に地域の中へ出向き、民生委員の方など関わりを深めており、コーディネーターとしての役割を発揮されている。山本さんの人柄も出ている。』とのお話も頂いております。
17	しまの杜こどもセンター	小西 優香 濱口 千秋 濱口 照美 小海途 洋子	5/2(水)、1歳児に4月から入園した園児さんは卵アレルギーがある。午前のおやつ提供前、1歳児保育室へ小走りで濱口千秋調理員が向かいクラス担任と今日のおやつについての話をしていた。当日のおやつは卵不使用のもので、提供前に注意をすることは無い。アレルギー児の給食・おやつ提供については、前月に使用する食材をすべて明記した専用の献立表を保護者がチェックし、調理員・クラス担任・リーダー・園長と誤食のないよう五重のチェックをしている。その上で、5/2その日のおやつについて、保護者のチェックが不明瞭かと気づき、クラス担任に卵不使用であることを念押しした。アレルギー誤食についての報道を目にしますが、除去食提供等多様化する調理業務の中、細心の注意を払っていただいているおかげで、子ども達が楽しくおいしく給食を食べています。
18	しまの杜こどもセンター	伊藤 富美子	5/10、花壇や園舎玄関のプランターに季節の花が咲いています。ふと気づくと給湯室や共用トイレに小さなお花の鉢が置いてありました。伊藤富美子作業員が職員しか立ち入らない場所にも心を配り、さりげなく飾ってくれていたようでした。新入園児さんを迎えて一か月、体調を崩したり子どもも大人も疲れが出てくるこの時期に、ほっと安らぐ心配りをしてくれています。

	事業所	職員名	模 範 行 動
19	伊賀介護老人福祉施設	小高 実咲	伊賀特養の小高介護員のある日の食後薬内服時の行動について紹介します。ある日、看護師がA様の内服薬の整理をしていたとき、錠剤が入っていない分包袋を1袋見つけました。その時は、時々薬局でもそういうことがあるから、また機械の調子でも悪かったのかな・・・程度に考え看護師間で情報共有しました。数日後、小高介護員がB様に食後の内服をさせていた時、いつもの錠剤が内服薬に混ざっていることに気がつき、内服情報で確認するも、そこには記載がありませんでした。看護師に報告し、内服薬を調べたところ、数日前に空分包になって、たりなかった錠剤が混入していました。それはホルモン剤で、気がつかずに内服させていたら大変な事になっていました。ご入居者様のことを把握し、変化に気づくことは業務上、当たり前のことかもしれませんが。しかし、数種類の内服薬を把握し、過不足に気づける行動が誤薬を予防することができました。他の職員に模範となる行動だと思い紹介させていただきました。
20	津介護老人保健施設	渡辺 五丈 奥谷 亮介	ある職員からの紹介です。倉庫にマットレスの納品があり、運ぶのに戸惑っていたところ、それを見た休憩中の渡辺介護員が来られ快く手伝っていただきました。また、別日ですが物品の納品が多くあり、倉庫へ運ぶのに戸惑っていた際、それを見かけた奥谷介護員が率先して荷物を運んでくれました。届いた物品を運ぶのは仕事として当たり前のことと言えばそうかもしれませんが、手伝わなければ過ぎていく流れの中、自らその現場に来られ手伝うという些細な行動（思いやり）がチームワークを良くしていくのだと思います。
21	新高茶屋通所介護センター	天野 恒平	出勤してきたらパソコンの電源が入っていました。前日にシャットダウンを忘れたのかと思いましたが翌日も電源が入っていたので天野さんへ確認したら、「職員の皆さんが出勤してきたらすぐに仕事ができるかと思い、自分が出勤したら電源を入れています」とのことでした。天野さんは誰よりも早く出勤してきて業務の段取り以外に掃除や草引きなど率先しています。新高茶屋通所介護のブロックリーダーとして職員が働きやすいように、相談員としてご利用様が気持ちよく来園していただけるよう環境面にも常に気をかけている行動を職員模範行動事例として紹介します。
22	阿児ケアサービスセンター第二真珠荘	池田 浩彦	第二真珠荘の池田浩彦ケアドライバーの紹介をさせていただきます。池田さんはこの4月よりケアドライバーとして入職され、少し経ったある日声をかけると、少しでも早くご利用様の自宅を覚えるために休みの日にその週行ったコースを自分の車で回り復習していると話してくれました。新しい環境に身をおき戸惑いもあるなか、ケアドライバーとしての自覚と使命感を持って業務にあたっただけに感じることがとてもうれしく感じ紹介させていただきます。
23	津介護老人福祉施設	奥田 誠	津特養で3年目の介護職員ですが、前職でIT業界に勤めていたこともあって、パソコンで困っていることがあれば、事業所の枠を超えて相談に乗っていることもあり、もちろん事業所内でのトラブル等にも助けて頂き、非常に頼もしい存在です。そんな奥田さんは、普段から季節感のあるフロアの装飾を心掛けて頂いており、いつもフロアの掲示板は季節感や行事の写真でいっぱいになっています。ご利用者様は、掲示板の前を通る度にその様子を思い出しては笑顔を作られ、また、ご利用者様同士や職員との会話のネタとなり、ご家族様へは施設での行事の様子等を知って頂くツールとなりつつあります。先日はメダカも持参して頂き、フロアへ飾って頂いております。すべては「ご利用者様に笑顔で過ごして頂く為」とその行動を評価し、今回模範行動として紹介をさせていただきます

	事業所	職員名	模 範 行 動
24	津介護老人福祉施設	林 珊如	秋山ブロックリーダーからの紹介です。 林さんの出身は台湾で、日本で初めて介護の仕事に就き、今年の4月から津特養で勤務して頂いております。介護のスキルだけではなく、言葉のスキルも身につけていかなければならない日々の中で、林さんと共に業務を終えた後、必ず聞かれることがあります。それは「今日の私はどうでしたか？」という質問です。 きっと林さんは毎日を大切に振り返り、反省し、何とか早く成長したい。という思いと責任感が強いのでしょう。私にはそう伝わってきております。 私自身は介護の仕事に就き、4年目を迎えますが、もう一度「初心」に戻り「日々精進」していく為の振り返る時間が大切であることに改めて気付くきっかけとなりました。今回このような事例をご紹介させていただきます。
25	大王認知症対応型 共同生活介護G	上野 洋一	大王グループホームの上野介護員は普段からTV等で放映されている地元に関わる情報番組や介護に関する番組、ご利用者様の視聴される歌番組等を積極的に録画して持ってきてくれます。 自宅での録画ですので、もちろん仕事中にはないのですが、普段から意識して少しでも役に立つと思われることに対して自ら発信する姿勢がすばらしいと思います。
26	浜島小規模多機能型 居宅介護G	山中 喜代美 中山 孝子 柴原 美穂	浜島小規模のパート職員の山中さん、中山さん、柴原さんは業務中になかなか出来ない施設の美化活動を就業前に積極的に行っています。当たり前のことかも知れませんが、常に少しでもご利用者様が過ごしていただきやすいようにと、美化に取り組んでもらっているみなさんの姿勢がすばらしいと感じています。
27	津介護老人保健施設	米川 昌克 阪 弥	上村ブロックリーダーからの紹介です。 洗濯場にご利用者様の衣類の棚があるのですが、仕切りが無い為、他のご利用者様と混ざってしまう事が度々ありました。米川介護員と阪介護員は夜勤明けにも関わらず、ご利用者さま一人一人の仕切りをダンボールで作成し、棚に設置してくれました。これからの衣類の管理がし易く、間違いもおこらずにすみそうです。 今まで誰も手をつけずにいた部分を、二人で考えて解決してくれたこの行動を見習いたいと思います
28	鈴鹿訪問介護 ステーション	田中 千登勢 パートヘルパー	鈴鹿訪問看護の佐藤統括リーダーからの紹介です。認知症を患っている夫婦共に入っているケースがあり、妻の支援が終了した頃、ご主人様が急に「お金を支払わないといけなから」と興奮しながら外に飛び出した。田中ヘルパーは、慌てて追いかけると近隣の方から「最近、道に迷うことが多いからついていってあげて」と言われ、一緒に行動を共にし、銀行へ。その状況をすぐ事務所に連絡し、対応を相談。他の居宅支援事業所の担当ケアマネに連絡を入れると、「毎回のことなので家族で対応してもらいます。そのままにして帰ってください」と言われる。その旨を田中ヘルパーに直接伝えましたが、「もう少し様子を見ます」と丁寧に諦めず対応していました。そのお陰で、ご利用者様は、満足したのか安心して自宅へ戻り、入浴介助を行う事が出来ました。普段からご利用者様思いで関わっているからこそ最期まで対応された姿に、人としての暖かさを見ることが出来ました。
29	鈴鹿第1通所介護 センター	長井 佑聖	鈴鹿訪問介護の山本ブロックリーダーからの紹介です。今回紹介させていただくのは、鈴鹿第1通所の長井佑聖さんですが、彼の行動で他の人と違うところが一つあります。長井さんは退勤時「お疲れ様です」と声をかけると、必ず立ち止まり「お疲れ様でした」とこちらに一礼してから帰られます。ちなみに他の職員は「お疲れ様でした」とそのままスーッと帰られる方が大部分です。傍から見れば当たり前のことですが、他の職員にはできていなくて鈴鹿最年少の彼がそれを実行していることに驚かされました。私自身も今回の件では接遇について考えさせられる事例です。

	事業所	職員名	模 範 行 動
30	笑家・阿山ホーム	桑原 とも子	桑原支援員は、昨年度より障がい事業部グループホームの生活支援員として働いていただいています。仕事内容は、食材の購入からご利用者様の身体介助まで、多岐に渡っています。また勤務時間もご利用者様の状況に合わせて臨機応変に出勤していただいているところです。入社した頃は、とても声が小さく大人しい印象の方でしたが、今ではご利用者様の特性をしっかりと把握し、声も以前に比べ非常に大きくなってきています。また、食材の管理においても正確に準備ができており、世話人から苦情をもらったことがありません。最初はこの仕事、大丈夫かなと思っていましたが、今では本当に頼りになる存在となっており、今後彼女の更なる成長を楽しみにしたいと思います。
31	津中央訪問介護	伊藤 時子 阪 又一	5月のある日、事業所の駐車場に駐車した際に、隣の車両に伊藤ヘルパーが乗っていました。自分はそのまま降車し事業所に戻ろうとしたが、伊藤ヘルパーは念入りに車両をぐるっと回り、傷がないか、異常がないか確認をされていました。また、その数日後は、阪ヘルパーも全く同じ行動をされていました。普段何気ない行動かもしれませんが、このようなことを日常的にされている方は何人みえるでしょうか？それ以来私もこのことを見習い、乗車時と降車時には必ず車両を確認するように心がけるようになりました。
32	通所リハビリセンター	三宅 麻起	この4月より津通所リハビリセンターのブロックリーダーとして務めている三宅さんの行動を紹介します。デイケアに事務所は随分狭く以前から事務所の改装等、施設改善の要望がありましたが、中々進まず現状のスペースで事務作業をこなしていました。通年開かずの窓で空気の入換えも出来なかったところ三宅さんは狭い事務所を狭いなりに工夫し、キャビネットの移動や不要な物を処分し見事に整理整頓を行い、職場環境の一新を図りました。職員からもイメージが変わった事で仕事に集中できると評判です。以前の研修で、工作中に物を探す時間は1年間で150時間、日数にすると約19日間。整理とは不要なものを捨てる事、整頓とは必要な物がすぐに使える事を思い出し、正にちょっと工夫することで余分なお金をかけることなく環境を整えられる、様々の視点から合理的に環境整備に取り組んだ三宅さんの行動を事例に挙げさせていただきます。
33	ふたみ通所リハビリセンター	有竹 陸	6月のある日、事業所の環境整備・清掃について通所リハビリセンターの井坂ブロックリーダーより各職員に対して確認および指示がありました。その際、有竹介護員はその指示された内容について自身の役割分を先回りして事前にクリアさせていました。また、業務終了後、皆が帰った後、ビロティの天井部分等にある蜘蛛の巣をきれいにしてくれていました。普段の業務の中で周りの職員からフォローが入ることもある有竹さんですが、自身にできることを考え懸命に実施しようとしている姿は、彼の成長を感じさせるものでした。今後の活躍の期待を込めて紹介させていただきます。
34	阿児第二通所介護グループ	石野 美香	阿児第二通所介護、南リーダーからの紹介です。阿児第二通所介護所属の石野さんはデイサービスの職員の中でいつも一番に出勤し、朝の送迎前までその日の業務の段取りをしつつ、併設のショートステイのご利用者様の食事の準備を手伝ったり、トイレ誘導などをしていただいている場面をよく見かけます。また、日中でもデイサービスのご利用者様のほかショートステイのご利用者様にも声掛けやトイレ誘導を率先して行っており事業所の垣根を越えた協力姿勢は見習うべきものがあると感じ紹介させていただきます。いつもありがとうございます。
35	ふたみ介護老人保健施設	上野美代子	西 弘能リーダーからの事例紹介です。パートクリーンスタッフの上野 美代子さんは、職員やご利用者様に対して、いつも元気に笑顔で声を掛けて頂いています。ご利用者様の中には、「あの人があると元気出るわ。」と、上野さんが出勤するのを心待ちにされているご利用者様もいらっしゃいます。いつも明るく笑顔を絶やさず、シーツ交換や清掃などをテキパキと丁寧にして頂くその姿勢は、業務に臨む態度として見習うべき点がたくさんあり、本当に助かっています。ありがとうございます。

	事業所	職員名	模 範 行 動
36	しまの杜こどもセンター	大山さおり	しまの杜こどもセンターの大山看護師は0歳児の担当を持ちながら看護師の仕事をして志摩地区の2園をまとめてもらっています。日々の子どもたちの健康管理が主な役割ですが、その内容は多岐にわたり、「看護師だより」の作成、各種検診の対応、子どもたちの健康調査にかかる資料の作成、感染症の予防と啓発、日々の子どもたちへの巡回から感染症発生状況・健康状態をまとめた看護日誌の作成などをしてもらっています。子どもたちの検診結果、身体測定などを記録する健康カードは志摩市にはなかったのですが、津市のものを参考に独自のものを作ってくれました。子どもたちの健康と安全を第一に、保護者や地域の方が安心して利用でき、信頼される園を目指しています。
37	しまの杜保育園	宮出 令子	8月に磯部中学校の吹奏楽部の学生さんが保育園で演奏会を開催してくれることになりましたが開催のきっかけを作ってくれたのは、子育て支援センター担当の宮出先生でした。ある日の会話で「吹奏楽部学生が演奏をしにきてくれないかな」と話していたら「私、校長先生を知っているから聞いてあげるよ」と言ってくれて開催が決まりました。そして「私は顔が広いから地域の方と子どもたちが喜ぶことがあったら何でも言って下さいね」と心強い言葉をくれました。今後も、地域と保育園の懸け橋となってほしいです。
38	志摩特養	上村 和誠	上村 和誠介護員の後輩にあたる学生が介護福祉士の実習に来てくれてすぐの事ですが、夜勤明けで疲れているにも関わらず遅くまで残って自身が学生の時（2年前）の経験を踏まえてアドバイスしてくれていました。後輩思いの彼の行動をととても嬉しく思いましたし、このような先輩が勤めている職場で働きたいと思ってもらえたのではないのでしょうか。人材獲得に苦勞する現状において彼の行動は模範であると思います。
39	津中央訪問介護	石川 真里	中央ヘルパーの定期巡回サービスは、平成28年4月に運営を再開しましたが、今では、地域の24時間対応できる事業所として、最期を自宅で過ごしたいと願われるご利用者様からの依頼が増えています。そんな中、お看取りの支援として、23：00、2：30、5：30の依頼を頂き、対応する事になりました。状態も日々変化していくご利用者様への支援です。6人の地域の夜勤者が対応するのですが、石川さんが全員の同行訪問をしてくれました。休みの日も、夜勤明けの日も、連日職員全員が不安にならないように、深夜に同行してくれた事で、全員が素晴らしい支援が出来、ご利用者様も不安なく、穏やかに安らかに眠りにつかれることが出来ました。石川さんの職員を不安にさせない責任感に心から、心強く、感動致しました。職員からも、安心して訪問できたと石川さんの行動に感謝していました。この素晴らしい行動を表彰して頂きたいと思いましたので、上げさせて頂きました。
40	阿児小規模居宅介護G	山際 かおり	山際さんは、普段から率先して施設美化に努めてくれています。会議開催時やお客様が見えたとかだと、お茶の準備はもちろん、施設内にはそっと花を生けたり、飾ったりしてくれています。何気ない気配りかもしれませんが心遣いがとても嬉しく思います。
41	きらめき工房いが	川原出 佳代	今回紹介するのは、きらめき工房にて事務を担当している川原出さんです。日々事務効率を上げていただけており、事務の仕事量もどんどん増えていっているにも関わらず文句の1つも言わずに頑張っていただけており私自身も大変助かっています。またいつも事務所だけでなく、玄関周りの美化にも気をつけていただけています。この時期になるとよくご家族様からお花をいただくことがあり、いつもきれいにそのお花を花瓶に飾ってくれているのも彼女です。いろいろな事に気付き、すぐ行動に移すことができる職員さんです。
42	伊賀通所介護センター	松山 嗣	平成30年7月4日デイサービス帰りの送迎時、松山リーダーは6人のご利用者様を乗せて送迎に出ました。少し走っていると目の前に1人の高齢者男性が散歩をされている様子でした。よく見ると伊賀通所を利用されているご利用者様の1人でこの日は利用日ではありませんでした。すると目の前でその男性が歩行中に前のめりに転倒されてしまいました。それに気づいた松山リーダーはすぐに車を停車し、男性のもとに駆け寄り、声を掛けました。幸い怪我等もなく、松山リーダーはすぐに事業所に連絡し、デイサービス待機の職員に救助要請し、自宅に送るように指示をしてくれました。松山リーダーは送迎業務中であり、他のご利用者様もたくさんいる中、迅速かつ冷静、また的確な判断で送迎業務に支障もなく転倒された男性も無事に自宅に送ることが出来ました。冷静に指示をだせる松山リーダー。その日の背中はいつもとより大きく見えました。翌日、そのご利用者様が元気にデイサービスを利用され、「昨日は助かったわ、ありがとう」と感謝の言葉を頂きました。

	事業所	職員名	模 範 行 動
43	志摩介護老人福祉施設	里中 美保	志摩特養のユニットリーダーからの紹介事例です。 月初めの七夕行事でのことです。司会進行の係りはどうしても皆が嫌がる傾向にありますが、里中美保介護員は責任感を持って自ら名乗り出てくれました。各種行事の企画等を主に担うすしサポート委員会からはユニット変更に伴い外れていましたが、途中まで関わった仕事なので。人前で話すのは大の苦手の里中美保介護員がしっかりとやり遂げた姿に感動しました。
44	志摩介護老人福祉施設	野村 真美	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。 野村真美介護員は、自ら率先して他ユニットの職員が阿児ユニットに入ってもスムーズに業務が行えるように、得意のイラスト付きで配膳表等を作ってくれたり、プラス1歩の仕事をしてきているので、一緒に働く職員も安心して業務遂行出来ています。野村真美介護員の様に多忙な中でも自分のペースばかりでなく、相手の事を考え尚且つ時間内に業務を終わらせる事は難しいことです。自分も見習いたいと思います。
45	志摩介護老人福祉施設	石樽 結花	志摩特養のユニットリーダーからの紹介です。 6/17の19:00の就寝介助時に、石樽結花準職介護員が、その日の気温が高くご利用者様の着ているパジャマが厚手で寝苦しくなりそうだと感じ、就寝直前に声を掛けて薄手のパジャマを勧めて着替えて頂いていました。業務が大変な中でも基本を疎かにせず細かな配慮をされていた事に感銘を受けました。忙しい中でもご利用者様を最優先に考えた行動・姿勢を見習っていきたいと思います。
46	志摩介護老人福祉施設	柳生 多加文	柳生多加文ユニットリーダーは、自分が担当する志摩ユニットに所属する介護員の誕生月に、プチサプライズで誕生日ケーキを準備してくれていたそうです。祝ってもらった若い介護員の子からその話を聞いて、”柳生さん、さすが！ナイス！”と思い、感心しました。先輩のこの気遣いが後輩や部下にとってはとっても嬉しいものですね。
47	ふたみ介護老人保健施設	野村純子	ふたみ老健では職種によって、日々行う仕事内容がマニュアルで決められていますが、野村看護師は決められた仕事はもちろんのこと、突発的なことが起きても普段と変わらず、定時に業務を終了し、退社されます。それは、仕事内容に優先順位をつけ、仕事の進み具合を見ながら先を見越して時間配分を行い、業務内で終了することを常に意識して働かれているからだと思います。必要以上の私語を慎み、任された仕事を責任持って確実にこなす姿に、自分がいかに無駄に時間を使って仕事をしているかを考えさせられます。野村看護師には普通のことなのでしょうが、決められた仕事を決められた時間に終わらせることが、いかに難しいか、野村看護師の働く姿勢から多くを学ばせてもらっています。マニュアルでは推し量れない、順応な対応を今も変わりなく続けられている野村看護師の行動が素晴らしいと、今回紹介させていただきました。
48	しまの杜こどもセンター	濱野 あかね	しまの杜こどもセンターの園庭にはこの時期、カニが訪れることがしばしばあります。大きなカニをクラスの子どもたちが見つけて飼い、名前をつけたり、図鑑で調べ何を食べるかなどたくさんの発見をしました。濱野先生は、それを、他のクラスの子どもたちにも見えるようにしてこどもセンター全員で楽しむことができました。自分のクラスだけではなく、他のクラスに呼びかけ、全体で共有し子どもたちにとって楽しい初夏の思い出を作ってくれました。
49	ケアハウス	並木 理栄	ケアハウスの並木さんは、去年に引続き福利厚生事業の豊和会の役員をしている中で、日帰旅行に係る飲物の調達（買物）を引き受けてくれています。役を決める時も、自らが手を挙げてくれました。旅行の前には参加人数を把握し、メンバーを見て、お茶、お水、各種ジュース、アルコールを冷蔵庫に冷やしておいてくれています。旅行の当日は万全準備が整っている為、担当の同行役員も大変助かっております。他にも色々が高茶屋地区内での豊和会の伝言や相談事をいつも無理を言ってしまうのですが、快く引き受けてくれて、大変助かっております。以前に私も飲物の担当をしたことがあります。飲物の買物は商品が重くて、非常に大変です。賞味期限の確認をしたり、細かい配慮が必要です。そこに気がつくのが、並木さんだと思っておりますので、これからも宜しくお願い致します。
50	ふたみ介護老人保健施設	鈴木 貴浩 中北 美紀	先日、豊和会の7月7日2班の日帰旅行が延期になりましたが、実は旅行の3日位前にふたみの役員鈴木さんや中北さんから神戸は「避難勧告」が発令されて、高速道路も閉鎖されていますが、旅行に行くんですか？と問い合わせがありました。事務局のほうもJTBからは何も状況報告がないのものですから、のんびりと旅行には行くつもりでした。早速JTBの担当者へ問い合わせたところ、実は、高速道路は閉鎖されており、不通状態、一般道路に行くにも到着できるか？、行っても帰ってこれるかどうかの保障もないと三重交通さんよりの報告でした。JTBとの相談の結果、天候もはっきりせず、今回の旅行は延期にしましょうと判断しました。せっかく参加予定者59名の方は楽しみにしてみえたかと思いますが、危険を伴ってまでは、決行するわけには行きません。ふたみのお二人からの強いご要望がなければ迅速に判断できなかったと思い、感謝しております。皆さんのご協力のもと参加者への延期の伝言緊急連絡もとどこり無く済み、ふたみのお二人をはじめ役員の方々に感謝の一言です。

	事業所	職員名	模 範 行 動
51	工房楽々あやま	高芝 里奈	今回紹介させていただくのは、工房楽々あやま支援員の高芝さんです。二年目を迎える職員さんです。現場はパン作業などいつもバタバタされており、忙しく動いてみえます。そんな中、彼女は、いつもしっかり立ち止まりおっとりした口調で「お疲れさまです。」と言われます。新人の時からいつも挨拶がしっかり出来る方やなと思ってはいましたが、二年目を迎えそこに笑顔がプラスされていました。今年は後輩が1名入り、教わる立場から教える立場になり、不安など増えているかもしれませんが、持ち前の明るさで乗り切ってくれるでしょう。
52	浜島認知症対応型共同生活介護	岡野 都美	浜島グループホームの岡野リーダーは主に職員の交流目的の為に毎月1～2回、志摩市にある体育館等を予約してスポーツの交流会を段取りしてくれています。更に岡野リーダーの素晴らしいのが、その周知に毎回異なるポスターや周知文を作成されることです。少しでも多くの職員が見て参加してもらえるように工夫しているその行動が素晴らしいと感じ紹介いたします。
53	伊賀訪問介護	西山 貴之	7/22（日）に高茶屋シルバークア豊壽園で開催された洗心カフェに伊賀総合職員数人で見学に訪れた時のことです。とても暑い日だったので来場された方は西館の中に集まり混雑していました。見学を終えた我々も邪魔にならない場所に集まり、感想等を話し合っていたのですが、見学から戻ってきた西山Lは椅子に座って嘔吐をしている3歳くらいの子供を発見しました。他に気付いている職員はなく、お母さんが一人で対応しているのを見て、即座にペーパータオルや手袋、冷たい水を準備し手伝い始めました。子供には優しく声をかけながら自分の私服が吐瀉物で汚れるのも気にせず吐くのを促し、恐縮しきりのお母さんにも“大丈夫ですか？”と声をかけ続け、てきぱきと片付けていきました。たくさんの方でこた返す環境の中で、西山Lの困っている人を見つける能力、困っている人を安心させる能力が存分に発揮された瞬間でした。“お母さんが可愛いかったから・・・”と照れながら話していましたが、困っている人を放っておけない西山Lの行動は常に模範になります。
54	津介護老人保健施設	福田 由真	リーダー級職員からの紹介です。福田CWは今年入社され、津介護老人保健施設の3階を担当しております。津介護老人保健施設は現場の体制に余裕があるわけではなく、日々、ご利用者様の対応に追われている現状です。その中でも、ご利用者様に楽しみを持っていただきたいという気持ちが強い福田CWはレクリエーションを充実させる為に、自身で空き段ボールを集めカルタを作成し、少しでもご利用者様に喜んでいただければ…という気持ちで行動していただいています。忙しいを言い訳にせず、自身で考え行動する福田CWの気持ちが素晴らしいと思い模範事例に上げさせていただきます。
55	ふたみ訪問介護	中村 ゆかり	ふたみ訪問介護ステーションのパートヘルパーとして働いてもらっています。人あたりがよく、優しい笑顔に定評があるのですが、いつも周りの事をよく見ていて、皆が仕事しやすいよう細やかに心を配ってくれています。例えば登録スタッフ宛に毎月郵送する書類があるのですが、受け取った人が思わず笑顔になるような季節感あふれるイラスト付きの封筒を毎月作ってくれています。また、仕事に慣れない新人職員にはヘルパー必携と言って、汗取りの手拭いをプレゼントしてあげたり、活動中邪魔にならないような携帯ケースを手作りしてあげたりと本当に現場を知り尽くしたきめ細かいサポートに頭が下がります。自然体で様々な心配りが出来る中村さんが職場の雰囲気や心地よきものにしてもらっていると日々感じているのでここに紹介します。
56	志摩介護老人福祉施設	山本 正喜	志摩特養のパート管理当直員の山本正喜さんですが、お仕事を一緒にさせて頂く中で、普段から非常に几帳面な方だと感じているのですが、例えば書類の整理をお願いしても本当に几帳面にきちんとファイリングしてくれますし、更に屋外の巡視時には公用車の窓がきちんと閉まっているか手を当てて確認されている姿を見て、改めて本当にきちんとしたお仕事をさせて頂けると感心しています。共に夜間の業務を担う夜勤者も安心できる事と思います。
57	志摩介護老人福祉施設	大熊 智	療養の為に約4ヶ月の休職期間があったのですが、復帰後の事も考えて自主的に介護事務管理士の資格を取得されました。あまり無理が出来ない状況の中でも最大のパフォーマンスをする為に、制限がある中でも最大限に貢献できるようにと、自ら考えての行動だったと思います。復帰後も志摩特養のケアマネジャーとして活躍してくれています。
58	津喫茶・売店	宮村 幸子 松元 サトエ	7月22日（日曜日）に高茶屋地域総合ケアセンターにて洗心カフェが開催されました。その中でもひととき忙しいブースは西館喫茶の無料ドリンクサービスのコーナーでした。担当のお二人は始まる1時間前から準備に取り掛かり、綿密な細かい打合せをされていました。お客様の長蛇の列が出来ている中、落ち着いて注文をさばき、普段の業務とは違っても、手際の良さは慣れたものです。お二人の健闘ぶりは洗心カフェをより盛り上げてくれていました。お子様やご年配、車椅子の方々への対応も気を遣い笑顔で受け答えして、普段馴染みのご利用者様にも変わらず声を掛け、担当職員の協力もあり、無事終了しました。慣れた仕事であれ、手を抜かず落ち着いて対応に当たられていたのは素晴らしいと思いました。

	事業所	職員名	模 範 行 動
59	津通所リハビリセンター	藤井博昭	高茶屋居宅の阿曾ケアマネジャーからの報告です。津通所リハビリセンターで昨年の11月から働いている藤井博昭は、車椅子ご利用者様の対応が非常に親身であり、ご利用者様が大変喜ばれていたとの報告がありました。入浴対応時、順番が遅くなる事が多い中、そのご利用者様の不憫な様子を感じ取り出来るだけ偏りのない様、時折早めに入浴して頂く対応を取っていた事に「自分の思いを察して下さり、配慮ある対応がとても嬉しく感じた」との事でした。彼のご利用者様への対応はとても丁寧である事を以前から感じていましたが、丁寧な対応の根底にあるのは母親を自宅で介護している事が正に実践に繋がっており、言葉がけ1つにしても公私分け隔てなく表裏のない対応をしている証と感じました。入浴の順番を早めてくれたことに対してのお礼についての模範行動と言うよりは、ご利用者様本意の対応を常に心がけていることについて素晴らしいと感じ報告させていただきます。
60	津中央ヘルパーステーション	上之郷 友紀	去る7月28日に、逆走台風12号が三重県地方を直撃し甚大な被害を与え、当法人も施設長はじめ職員一同対応にご尽力いただきありがとうございます。さて、その当夜、午後8時頃、上之郷職員が夜間訪問を終え本町事務所に帰ってきたところ、地元弓之町自治会長が玄関前で3人の高齢者とともに待機しており、一時避難したいとの依頼がありました。上之郷職員は、すぐに上席者と連絡を取り、建物の5階が避難所になっていることから、そこへ案内するとともに、備品等が不十分ななかで、寝具や飲料水の確保、段ボールの手配等、ほとんど一人で親身になって対応。おかげで、4人無事に朝を迎えることができました。翌日、自治会長が改めて来所され、「大変親切な対応をしていただき、強風の吹き荒れる中でも、安心して過ごすことができました。お世話になりとても感謝しています。」とお礼を述べられました。台風上陸という緊急事態の中で、的確かつ心のこもった対応に頭が下がる思いです。常日頃からきちんとした活動姿勢の賜物と感じ入った次第です。ありがとうございました。
61	グループホーム真珠荘	村田 真一	しま福祉用具 坪谷リーダーが他の法人職員より声をかけて頂いたそうです。グループホーム真珠荘の村田介護員は施設物品の購入の為、薬局でレジに並んでいたところ購入する商品が多かった為、次の方に順番を譲り他の方に先に会計を済ませてもらっていたとの事です。その中に他法人の職員がみえ、後日坪谷リーダーに職員の方より「同じ服を着ていたのだから」とお礼の言葉を頂きました。時間が無いにもかかわらず、周りの状況に気を配り行動に移せることが素晴らしいと感じ紹介させていただきます。
62	新高茶屋短期入所生活介護	大川 智絵	井口上級リーダーからの紹介です。7月29日は台風12号の影響で新高茶屋ケアサービスセンターが停電しました。当日夜勤だった大川さんはすぐに上司である戸波ブロックリーダーに相談し、最終的に施設長の指示のもと真っ暗でセンサーも作動せず、エアコンも効かない中、大きなトラブルや転倒、脱水症状などの事故もなく一夜を過ごすことができました。大川さんの冷静な報告と経験のある介護技術などからトラブルなく過ごすことが出来たかと思えます。
63	新高茶屋通所介護	渡邊 天喜	井口上級リーダーからの紹介です。渡邊さんは短大を卒業後、数ヶ月他部署で働き、その後新高茶屋通所介護に異動となりました。当時は一般的な新人職員でありましたが、1年経った今振り返ると急激な変化が感じられます。上司に話を聞くと「彼はとにかくご利用者様に優しい。大変な仕事も嫌な顔一つしない。責任感が強い」など良い話ばかりです。本人は「最高の職場で働かせてもらっているのだから上司に感謝しています。後輩には自分が1年目だったことを思い出し、教えることで事業所に恩返しをしたい」との思いがあるようで、そういった思いが急成長を遂げている原動力となっており、自宅は遠方であるにも関わらず朝早く出勤し事前準備を行う姿勢や後輩への気配り、責任感に繋がり、事業所の柱となっているのだと思えます。1年でこれほど急激に成長した職員はあまり見たことがありませんのでご紹介させていただきます。
64	津介護老人保健施設 津介護老人福祉施設	海津 孝慈 鎌田 久代 東 猴 公恵 小角 祥太 小 菅 一行	井口上級リーダーからの紹介です。7月29日は台風12号の影響で新高茶屋ケアサービスセンターが停電しエアコンが効かない状態でした。短期入所生活介護は営業中であり、熱中症が懸念されたので日中は地域総合ケアセンター通所リハビリ事業所へ避難しました。「何かあったら言ってください。手伝いますよ」とたくさんの職員から声をかけていただきました。鎌田さんと東猴さんはご利用者様が少しでも和らげるようお茶出しや見守り等を手伝っていただき、排泄物品については海津さんが津老健の物を準備していただき、送迎は小角さん、小菅さんが手伝っていただきました。自事業所も大変な中、積極的に手伝っていただく姿勢に感心しました。皆様に感謝します。
65	つまちなか地域総合相談センター	干場 志保	今年4月から、つまちなか総合相談センターに配属された干場保健師ですが、1階のカウンター周りや靴等の陳列棚の装飾に素晴らしい工夫を加えてくれています。いつ行っても、その季節やイベント関連のポップ、イラスト、ブラックボードを新たに作成しており、通りがかりの人を飽きさせない工夫がされています。相談を受けるだけでなく、相談に行きたくなるような、少し入ってみたいくなるようなお店づくりも仕事と認識して行っていることが素晴らしいと感じましたので紹介させていただきます。

	事業所	職員名	模 範 行 動
66	白塚訪問介護ステーション	伊藤まゆみ	今回、紹介させていただくのは、白塚訪問介護ステーションの伊藤まゆみヘルパーのちょっとした一言に感動した話です。伊藤ヘルパーは仕事もまじめにしっかりとこなしていただき白塚訪問介護ステーションの母親的な存在ですが、今年度の納税納付書を伊藤ヘルパーに渡させていただいたところ、「今年もお仕事をさせていただき無事に納税することができます」と納税納付書を両手で受け取っていただきました。存在納税納付書を渡して感謝されたことがなかった私にはとても感動した一言でした。また、日頃から感謝の気持ちを持つことの大切さを教えていただいたように思います。
67	しまの杜こどもセンター	中村 菜穂	手芸が趣味の中村保育士は、「子どもたちが喜ぶかなと思って」と言って暇を見つけてはあみぐるみを作り、園に持って来て来てくれています。手作りの温かみのあるあみぐるみは、みんなが集まる玄関前の絵本コーナーにおいてあります。来園された人を優しい雰囲気を出迎えてくれるのももちろん、子どもたちも絵本コーナーに来ては手に取ったり抱きしめたりして喜んでいきます。「毛糸が余っていたから…」とさりげなく、気が付くと一つ一つと数が増え、みんな楽しみにしています。園での作り物でも自らミシンなどの作業を快く引き受けてくれており、皆から信頼される頼もしい存在です。
68	第二はなこま保育園	調理員の皆さん	現在230食分の給食を調理員4名(準職員1人、パート3人)で業務にあたっています。(普通食・離乳食・アレルギー対応食 一時預かり含む)7月、小学生(学童)が夏休みに入るとその食数は、300食を超えます。、調理員さんの数は4人のままですが、自分たちで工夫をし、給食の時間までにきちんと業務を終え、一度も遅れることはありません。仕事に対する姿勢は見習うべき模範行動であると思います。
69	甲賀通所介護G 甲賀短期入所生活介護G	白藤 幸代 森井 加織	甲賀事業所において順調に運営されているそんな中、当たり前的事かもしれませんが各事業の管理者が営業を行い、新規ケース・緊急利用も断らず対応出来ているから新規紹介や回数追加が増えていると思います。また急な調査依頼でも調整が困難場合は二人で話し合い対応してくれています。自分の事業所だけでなく横のつながりを大切に考えて行動できています。これは、今までの経験・津地区で学んだこと、伊賀地区での連携の大切さを学んだ結果だと思えます。
70	甲賀居宅介護支援事業	森 喜久代 本間 知子	甲賀では、施設をご利用いただくご家族様や関係者の方以外に、交流スペース(喫茶)をご利用(ご来店)される一般のお客さまも、施設側のトイレを使用されます。いろいろな方が使うトイレですので、汚れていると施設のイメージにも影響を及ぼします。きれいであることが何よりですが、掃除をする側の心情ではきれいな場所ではないので、積極的になりにくいところと感じてしまいます。しかし、森さん、本間さんは、出勤の日は必ずと言っていいほど、朝から1階のトイレ掃除をしてくれています。先日も、喫茶のお客さまがトイレを使われた後に、「施設も素敵ですが、トイレがすごくきれいで気持ちよかったです。」とお褒めの言葉を頂きました。こうした努力の積み重ねと良い評価を頂くことで、施設が良い方向に発展していくことと思えます。このお二人の日々の努力に感謝です。
71	志摩介護老人福祉施設	藤谷 喬介	志摩特養のリーダーからの紹介事例です。私が休日に施設に電話をした際の事です。夜勤明けで事務所にいたであろう藤谷喬介介護員が電話をとってくれました。他の職員は電話中であり、自分が出なくてはと電話をとってくれたとの事でした。2~3コールで電話もとってくれて、また第一声もさわやかな声での対応に、普段は電話に出ることがなく、緊張もしたはずですが、すばらしい対応であったと思い、紹介させて頂きました。
72	志摩介護老人福祉施設	河原 知明	志摩特養のユニットリーダーからの紹介事例です。職務上かもしれませんが、普段からご入居者様の食事の事を気に掛けてくれており、ご入居者様が体調不良時等は自ら率先して食事介助をしてくれ、現場の職員にアドバイスや相談をしてくれます。食事形態の変更は現場の職員の判断では難しい所もあり、他職種の方達と連携もとってくれて大変助かっています。また、自分の職務が多忙にも関わらず、ご入居者様から声を掛けられると、じっくりと傾聴をしているので、多くのご入居者様から慕われています。多忙な時でもその場でじっくりと耳を傾ける彼女の姿は見習うべきだと感じました。
73	しまの杜こどもセンター	上村 凧沙 職員の皆様	志摩特養のユニットリーダーからの紹介事例です。今夏、猛暑だったのにも関わらず、園児送迎の際、いつも笑顔で子供達の出迎えをして下さいます。子供達が靴を履く際も最後まで優しく見守って下さいます。暑い中、早く教室に戻りたいでしょうけど、一切表情に出す事も無い姿に、他の保護者も安心感を持っていると思います。他事業所ではありますが、施設でもご入居者様やそのご家族様に安心して頂ける雰囲気になりたいと思う良いきっかけを頂きました。

	事業所	職員名	模 範 行 動
74	志摩介護老人福祉施設	河原 知明 山本 恵美子	台風21号が接近し事前の対策をするにあたり、河原知明管理栄養士と山本恵美子パートクリーンスタッフは、所属の志摩特養に限らず、他事業所や地域の方達への影響も考えて、以前にも雨水が溢れていた道路の側溝の掃除をしてくださいました。自分が勤務するところだけでなく、敷地を出て周辺の地域での対応に感謝します。ありがとうございました。
75	ふたみ介護老人保健施設	山本 実紀 谷口 佳子 山村 元一	とある日の1ページ。山本パート介護員より一言。「H様は、もう車椅子じゃなくても、歩く対応で良いのでは？」と。その後、理学療法士が評価し終わると、早速歩行で対応していました。また、山村ブロックリーダーは、あるご利用者様の対応を決める時、「ちょっと皆、集まってください。」と介護員やその他の専門職に声を掛け、実践を交えて伝達していました。さらに、谷口介護員は、異なる専門職の業務に対して、「私、まだ分からないことが多いので、みせてもらえますか？教えて下さい。」と。その後、その日のうちに、覚えた事をご利用者様に実践していました。「想い」にとどまらず、「発信」、「行動」へと移す。三名の姿に、深い思いやりと勇気を感じました。言葉ではなくその姿に、多くのことを学ばせてもらいました。
76	ふたみ介護老人保健施設	米田 ますみ	看護師の米田ますみさんの紹介です。高齢化が進む中、ささいなことでも体調が変化しやすく、状態が急変することもあります。我がふたみ老健では、病院受診又は救急車で救急搬送することも多くなっています。そんな中、日勤にもかかわらず、8時30分の1時間30分も早く出勤し、色々な業務をこなしてくれています。本人は、「自分の都合で来ている」と言っていますが、本当に助かっています。業務に余裕ができると、緊急にも対応でき、気持ちにも余裕ができるので大いに助けられています。しかも、毎日明るく元気です。どこからそのパワーが出てくるのか、見習いたいものです。これからも体に気を付けて頑張ってください。
77	きらめき工房いが	玉野 裕子	昨年12月に入られたパート生活支援員さんです。とにかく気付きと行動がとても早い方です。ご利用者様が玄関に着かれると、すぐ玄関の外に来られお出迎えをされてみえます。また、最近通所された外国のご利用者様に対しても、とても親身になって日本語を教えられています。そのおかげで、ほとんど言えなかった挨拶が少しずつ言えるようになってきているのが実感として分かります。玉野さん曰く、「他のご利用者様と仲良くなってほしいから・・・」と言葉が話せない事でコミュニケーションが取れないことをなんとかしてあげたいという一心で言葉掛けをしっかりとされていたそうです。そのご利用者様も日に日に笑顔が増えており、玉野さんの根気よく支援される姿勢がそうさせたのだと思います。
78	浜島小規模多機能型 居宅介護	濱口 健吾	先日の台風21号の際に浜島小規模では16時頃より停電が発生してしまい、夜間は灯りの無い対応を行いました。その時に濱口介護員は率先して夜勤者の手伝い、非常用照明の準備を行い、最終夜勤者が対応可能になるまで残って対応してくれました。台風の後で自身の家の状態も心配だったのですが、とても頼りになると感じました。
79	津第1通所介護センター	宮本 裕貴	あえて、当たり前の挨拶を模範行動事例として紹介させていただきます。この4月より正規職員として第1通所で働いている宮本介護員。当初、挨拶をしてもボソボソと何を言っているのか分からないことが多く、1度厳しく注意したことがありました。6月のある朝のことです。それ以来、人との挨拶は面と向かってしっかり出来るように本人なりに意識している様子が伺え、ご家族様が面会にご来園された際に一番元気な声でしっかり挨拶をしていたことに感動を覚えた事がありました。指導しても中々身につかない、そんな人もいる中で注意されたことを謙虚に受け止めご利用者様、ご家族様に対する挨拶がしっかり出来たことはサービス提供上の基本としては最も大切なことで、これを機に他の職員さんも考えて頂けたら、と思い紹介させていただきます。
80	白山地域密着型 ケアセンター	高橋 まり子	白山地域密着型ケアセンターは、地域のボランティアの方々に来訪していただいたり、川口小学校の生徒の方々とは交流したりと、地域との交流に力を入れています。地域の皆さんともっと交流したいと職員が様々な企画をしています。今回「バレトン」講師の資格を持つ高橋さんが、「地域の皆さんに向けて、バレトン教室を開催しよう」と提案してもらい、10月に川口小学校の体育館で開催することになりました。もちろん事業所職員も全員で教室を盛り上げ、成功するよう現在準備中です。「バレトン」とは、フィットネス、バレエ、ヨガの3つの要素を組み合わせたエクササイズです。皆さんもスポーツの秋に取り組んでみませんか。

	事業所	職員名	模 範 行 動
81	津通所りハピリ	三宅 麻起 脇谷 昇平	台風21号が直撃した9月4日ですが、前日より学校等の休校が決まり、当日、パート介護職員の休みも多く、入浴介助を行うのに人数が厳しい状況でした。そのことを通所事業の田中施設長に相談すると、入浴介助の時間に田中施設長・三宅介護員・脇谷介護員が応援に来ていただきました。そのおかげで、特に大きな問題もなく業務が行え、ご利用者様にもご迷惑をかけずに済みました。このようなイレギュラー時に、自分の事業所も忙しい中、他事業所に目を向ける姿勢は素晴らしいと思い模範事例に上げさせていただきます。本当にありがとうございました。
82	ふたみ訪問介護	松本 正浩	普段、ふたみ訪問介護で通院乗降を担う一方、施設事務員として施設の保守や車輛管理などの役割を担って頂き、縁の下の力持ちとして活躍されている松本さんですが、先日9/4（火）に猛威を振るった台風21号の影響により、ふたみケアサービスセンターも停電に見舞われました。その際公休であったにも関わらず、自主的に施設に駆けつけて頂き、関係業者との連絡・その他対応をスムーズに行っていただきました。おかげで周りの職員は安心感を持ってご利用者様や職員への対応を集中して行うことができました。普段から何かあれば、嫌な顔一つせず対応して頂き、皆からの信頼の厚い松本さんですが、今回は更にその責任感と意識の高さに感服しました。いつもありがとうございます。
83	嬉野保育園	西 知里	副園長からの紹介です。日頃、園児の送迎や世話を中心にされて見えるある祖母様が、ある日の登園時、家庭でのお孫さんの世話などで疲れや悩みを抱えこんでしまわれ、涙をこぼされるということがありました。担任でもある西保育士は、日頃から祖母様の体調を気遣ったり、気持ちを汲み取った声掛けをしており、信頼される存在でした。西保育士は、疲れて涙をこぼされている祖母様の気持ちに寄り添い、体をさすりながら思いを受け止めてくれました。そういう対応に次第に落ち着きを取り戻し、「ありがとう」と頭を下げて帰って行かれました。ベテラン保育士西さんのように、園児だけでなく、御家族の思いも受け止めながら対応する姿は、これからを担う若い職員にも受け継いでいってほしいと思いました。
84	しまの杜こどもセンター	堀口 黎士	堀口黎士保育士はパソコンが得意で、写真印刷や音楽CDの作成を素早くしてくれています。また、敷地内の草刈りや畑の作業も力を貸してくれます。嫌な顔ひとつせず、快く引き受けてくれるところが周囲からの信頼を得ており、模範とする姿であると思います。
85	つまちなか保育園	吉田 京子 大市 由衣 藤岡 香子	9月4日台風21号の勢いが収まった17時過ぎ、周囲の状況を確認しにいくと、市営駐車場の大型看板や隣のお店のシャッターが吹き飛ばされプラスチック片や金属片が歩道や道路まで散乱していました。この状況に職員もビックリ、しばし茫然となってしまいましたが、“このままでは危険”とすぐさま飛び散っている様々な物を拾いはじめ、園庭の周辺だけにとどまらず真ん中広場の方や道路、中央分離帯にと広範囲に渡って綺麗にしてくれました。普段から園庭前や歩道を掃除してくれている職員ですが、こういった突然の時にも普段と同じように自分たちができることを一生懸命してくれる職員の姿に感動しました。
86	きらめき工房いが あおやま 工房楽々あやま	奥島 真由美 大井 彩 高芝 里奈	9月29日(土)に障がい事業部「きらら祭」を行いました。台風の接近という事もあり当日は雨予報だったので、前日に急ぎょ室内での開催に切り替えました。セティングは判断が早かった為特にバタバタすることはありませんでした。模擬店は大幅な流れが変わってしまっており、短時間での提供をしなければいけなくなりました。そんな中、3人は刻々とせまる中、段取りよく進め、指示をだしてくれていました。結果、時間通りに提供ができ「きらら祭」を無事時間通りに終えることができました。提供された食べ物の味はもちろん美味しかったのですが、それ以上に見た目もきれいに仕上げてもらっていました。当日ご利用者様に喜んでもらいたいという思いから、思考を重ねた努力が結果として現れており、目にみえない努力を感じられとてもうれしく思いました。
87	ふたみ介護老人保健施設	西 弘能 上紺屋 隆一	職員さんからの紹介です。 猛威をふるった台風21号の影響で、伊勢地区も停電被害に遭いました。ふたみシルバーケア豊壽園も例外でなく、15時から翌朝5時まで停電し、ご利用者様や職員の中には不安が募る中、西リーダーと上紺屋ブロックリーダーがリーダーシップを執り、非常電源の確保や夜勤者への指示等を的確に行っていました。その甲斐もあり、ご利用者様に事故も無く、朝を迎えることが出来ました。非常時に於いても、冷静に状況を把握できていた二人はとても頼もしく、模範行動に値すると思ったので紹介させていただきます。

	事業所	職員名	模 範 行 動
88	伊賀居宅	北野 員代	伊賀居宅介護支援事業所の北野ケアマネは豊壽園で働き始めて2年半の準職員ケアマネです。日頃から市役所や病院等関係機関と積極的に関わりを持って取り組んでいます。8月に伊賀市地域包括支援センターより家族がパーソナリティ障がいを患っており、認知症の本人様に対して虐待をしている恐れがある少し困難なケースの相談がありました。その時、包括社会福祉士からは“北野ケアマネなら上手に対応しよう”とご指名をもらいました。北野ケアマネはその後パーソナリティ障がいがある家族様とも上手に付き合い、その家族様から“本当に良い施設とケアマネを紹介してもらった”と電話をいただきました。また、10月初めに相談が入ったケースも、認知症一人暮らしの地域の困難ケースでしたが、“私行きますよ・・・”と積極的に取ろうとしてくれます。正規職員が一名しかいない当事業所において、本当に頼れる存在になっています。
89	介護老人福祉施設	中林 康博 小角 祥太	特養の中林相談員と小角リーダーに協力してもらった事案を紹介させていただきます。 本部での会議後の帰宅途中で、送迎担当者から送りの送迎時に転倒事故が発生した為、応援に来て欲しいとの連絡を受けた。タイミングよく現場近くを走行していたので、すぐに駆けつけることができたが、その際に中林さんと小角さんは機転を利かせてお怪我をされたご利用者様に気遣いの言葉がけや病院受診を検討している際にも素早く高茶屋クリニックに連絡、手配をしてくれた、その行為が送迎担当者や当事者にとっては大変心強い事と感じ、安心感を得ることができました。誰もがその現場に居合わせたら同じ様な行動をとるとは思いますが、同じ地域総合ケアセンター内で働く者同士が連携し、早期対応早期受診ができたことはこの日の会議の場で副理事長が話された「連携」の意味を改めて実感できました。ありがとうございました。
90	つまちなか居宅介護支援センター	土田 美登里	つまちなか地域総合相談センターでは「くらしの相談」窓口としてあらゆる方を対象としています。 福祉用品の展示もしているため、その商品を買いたいと電動車いすに乗った女性がいらっしゃいました。ろうあ者の彼女は、代わりに電話して欲しいところがあると土田さんに相談されました。筆談でやり取りするため時間がとてもかかりましたが、土田さんは丁寧に終始笑顔で対応されました。結果的に問題は解決しませんでした。土田さんの親切で丁寧な対応に女性はとても感謝され、深々と頭を下げて帰られました。つまちなか総合相談センター開設時に、窓口では笑顔、親しみやすさ、フットワークの軽さが大切と言われましたが、まさに土田さんの対応はそのものでした。
91	志摩介護老人福祉施設	金田一 和広	毎月の楽しみがあります。それは志摩特養の阿児ユニットの会議録の起案が回ってくる事です。というのもその理由は、ユニット会議のはじめに職員の最近の出来事を伝え合う時間があり、それを会議録にも記載してくれてあるのでその内容を読むのがちょっとした毎月の楽しみなんです。『最近、猫を飼い始めました！』とか、『東京ディズニーランドに家族で行ってきました～。』とか、『関ジャニのライブに行ってきます!!』とか、職員さんたちの日常が垣間見えて気持ちがいいです。職員同士のコミュニケーションを良好に保つひとつの工夫としてずっと続けてくれている金田一和広ユニットリーダーの行動を模範事例として紹介させていただきます。
92	しまの杜こどもセンター	尾崎 充治	しまの杜こどもセンターでは朝夕の登降園時間には送り迎えの車が集中します。特に雨の日は、敷地内に渋滞が発生します。尾崎充治保育士は、渋滞に気づくと状況を報告し、持参の長靴とカッパをまとい駐車場へと向かい車の誘導をしてくれています。危険防止に努める気づきのおかげもあり、駐車場でのご事故は一度も発生しておりません。
93	大王小規模多機能型居宅介護G	大畑 由美子	大王小規模多機能型居宅介護Gの大畑さんは、毎年10月～11月に施設のある地区での美術展に施設から出展する作品を誰ともなく毎年率先して先頭になって作成して頂いています。毎年どんな作品にするか苦労されていますが、大畑さんは施設のある地区在住の職員さんでもあり、地域の住民としても地域活性化の為、頑張っています。地域密着の職員としてはお手本になる行動だと思います。
94	はなこま保育園	服部増美	現在、午後からのパート職員として働いてみえる方ですが、急な職員の休みがあるとご自分の都合をつけて朝から出勤していただいたり、勤務状況を察し「この日は、朝から来ましょうか」と言ってきて下さることもあります。はなこま保育園にとって大変心強い方です。

	事業所	職員名	模 範 行 動
95	本町 人事課	林 みさき	10月1日(月曜日)に平成31年度採用職員の内定式が本町5階でありました時の事です。当日は人事課の方々は会場の準備・配布書類の確認等で忙しくされていました。そんな中 5階のトイレは普段あまり使用していない事もあり、正直時々しか掃除をしておりましたので、5階のトイレに行きますと、人事課の林さんが一人で女子トイレの掃除を既にしてくれてありました。ゴミも片付け、床もキレイに拭いてもらっており、完璧でした。会場の準備も忙しい中、トイレまで気が付いてくれて「ありがとうございました。」という感謝の言葉が思わず出ました。行事や研修がある時に限らず、いつも決まった人がするのではなく、皆が積極的に掃除をしてくれる人が増えるといいなと思いました。林さんの行動は当たり前であるかもしれませんが、それを行動に移してくれた事がよかったですと思いました。
96	しまの杜こどもセンター	橋本 夢菜	しまの杜こどもセンターでは、12月8日に生活発表会を予定しています。子どもたちの合唱や合奏、劇やオペレッタを年齢ごとに行います。ピアノ演奏全般は、橋本夢菜保育士に頼みました。大勢の前でピアノ演奏はプレッシャーもかかることと思いますが、「(ピアノは上手ではない)ただ好きなだけです。」と嫌な顔ひとつせず快く引き受けてくれました。橋本保育士の謙虚な姿勢は模範であり、紹介させていただきたいと思います。
97	志摩介護老人福祉施設	丹治 優樹	ユニットリーダーからの紹介です。急にボイラーに不具合が生じた為に、大浴場が使用できず入浴予定のご入居者様の体拭をする事になりましたが、おやつ提供の時間も迫っており、排泄介助も重なり、早番職員の業務がかなり押している状態でした。そこで丹治介護員は、『休憩前に僕が排泄介助に入ります。もうおやつも届きますし、急がしてしまうご利用者様が気の毒ですし・・・。』と行動してくれました。ただスピード重視の業務ではなく、ご利用者様や他の職員の事を考えて臨機応変に働く姿はとても素敵だと思いました。
98	津中央訪問介護ステーション	阪 又一	ある日のこと本町1階エレベーター横にある倉庫の電気がついていたのでドアを開けると、津中央ヘルパーステーションの阪さんでした。倉庫にはご利用者様に使用する車椅子が何台か準備してあります。阪さんは通院乗降介助やご利用者様に使っていただく車椅子の点検をしており、車椅子に貼ってある「シルバーケア豊壽園」の名前が取れているとこのことできれいに張り替えてくれていました。私も病院へご利用者様を送迎した際、病院の車椅子と豊壽園の車椅子がわからなくなった経験があります。また緊急時はすぐに使えなければ意味がありません。名前がきちんとあると迷子になることはありません。何も言わずとも定期的に点検してくれて、きれいでいつでも使用できるのは阪さんのおかげだと実感しました。阪さんはしたことを言うわけではありませんがあたり前にできることとてもかっこいいと思いました。
99	ふたみ介護老人保健施設	松岡裕子	パート介護員の松岡裕子さんは、いつも自然な態度でご利用者目線を忘れず、ご利用者様に対応されています。歌が好きなご利用者様とは一緒に歌い、踊りが好きな車椅子ご利用のご利用者様には、隣で手の動きだけでも一緒にいたり、ご利用者様も大変嬉しそうな表情をされています。日々大変な業務の中でも、その寄り添う姿勢を忘れずに実行されており、周りの職員にも改めて『心ある対応の大切さ』を気付かせてもらっています。一職員として見習っていきたいと思います。
100	本町居宅支援G	大坪 寛子	本町の2階にはすぐにカウンターがあります。大坪さんはお花をいただいたりすると何も言わなくてもきれいにカウンターに花を入れてくれます。またセンスがいい。他の施設長さんが見えたときも「いつもきれいに花が入っているな。」と癒されて行かれる時もなかったでしょうか。ご利用者様、お客様が来られたとき一番に見えるところです気持ちよく迎えられるようにいつも心がけてくれています。その気持ちを見習いたいです。
101	きらめき工房いが	宮本百合子	村林リーダーからの紹介です。宮本支援員は、生活班というご利用者様の一人ひとりの見守りが必要なところを担当しています。生活班の部屋は床等が汚れることが多いのですが、時間の合間を見つけては清掃をしてくれています。見守りの対応だけでなく、清潔を心がける意識の高さは素晴らしいと感じました。
102	はり灸治療院リラステーション	矢谷 淑絵	11月4日(日)にふたみシルバーケア豊壽園の萩祭りがありました。今回のお祭りは今まで以上に地域の皆様に目を向け、様々な新しい試みを取り入れたのですが、その中の一つに鍼治療の体験として「はり灸治療院リラステーション」の矢谷さんに来ていただきました。初めて来る事業所で慣れない環境の中で、準備から施術まで終始にこやかで丁寧な対応をしていただき、施術予定人数はあっという間に埋まってしまいました。おかげでお祭り自体も大盛況に終わり、より地域に貢献できなかったのではないかと思います。オールアウェーの中、彼女の笑顔いっぱい頑張りをぜひ紹介したいと思います。

	事業所	職員名	模 範 行 動
103	新高茶屋短期入所生活介護G	大川 智絵	大川さんは、豊和会の役員はまだ、1年目ですので豊和会の仕事の内容は事務処理等、分からない事ばかりだと思います。なので大川さんは、積極的に相談や質問事項、担当事業所内での難問を解決してもらってます。新しい役員の方や、そうでない方でも、事業所役員からはとりたてて質問も無く、会議でも特に質問事項もなく、役員としての意識はいかなものかと思うことさえあります。大川さんのように、責任感にあふれ、前向きに業務にあたる姿は、介護業務にも活かされていると思います。先日も日帰り旅行に担当役員として同行して頂きましたが、女性としての、気配りもあり、しっかりと役員としての役目を果たされたと感じております。今後もその意識を高めて頂き、成長して欲しいと思います。
104	西館夜間当直担当	岡野 佐登志	先日、豊和会の台北旅行の際に、セントレア空港へ貸切バスで向うのに、西館辺りにはAM5:00頃から参加者職員は集合し始めていました。その時は当直の方には、事前に頼んで西館ケアハウスの玄関をAM5:00には開けていただきました。出発前には西館のトイレも使わせて頂いたり、早朝よりバタバタと出入りも激しくご迷惑をお掛けしました。バスの見送りまでして頂き、「26日(月曜日)の夜は遅くに帰ってみるんですね・・・ピロティの電気は点けて、玄関のドアも開けておきますので、トイレ等使ってください。」とお気遣いのお言葉を頂きました。実際 26日(月)の夜は消灯も過ぎた9時30分過ぎにバスが到着しました。岡野さんは出迎えてくれて、「参加者の私有車駐車場も3日間異常はありませんでしたよ。」ご報告をもらい、盗難や不審者の侵入も無く安心しました。極早朝や夜間にも関わらず快く対応してくれて、こちらも大変助かりました。最後に全員を見送ってから、お礼を言って電気を消して、戸締りをして頂きました。偶然にも2日間とも岡野さんに対応して頂き、以前にもあったかと思いますが、いつも笑顔で快く接して下さるので、感謝の一言に尽きません。これからも、夜間当直宜しくお願い致します。
105	第二はなこま保育園	岩佐里奈	保育園では年間を通して、沢山の行事がありますが、岩佐保育士は、子どもたちが安全に活動できるようにと、いつも事前に環境整備をしてくれています。保育園の理念は「健康と安全」です。何か楽しいことをしても、安全が守られなければ目的は達成されません。保育園の方針をきちんと理解して保育をしてくれる岩佐保育士は、みんなの模範です。
106	津介護老人保健施設	落合 智貴	老健に異動した時の時に黙々と目の前の仕事をこなしている職員の姿がありました。活気がなく、フロアの雰囲気は暗かった印象でした。もっと職員間でコミュニケーションを取ることで、少しでも雰囲気が変わり、他の職員の動きも見えてくることにより、業務もスムーズに流れていくと口がすっぱくなるほど事あるごとに伝えてきました。新人職員が多かったこともありなかなか現場で職員の声が聞こえる事はありませんでしたが、11/28 落合さんがおやつの時間になり厨房におやつを取りに行こうとした時に、フロアに姿の見えない職員が先におやつを取りに行ってるのではないかと思います、大きな声で〇〇さんはおやつを取りに行っていないですか？と周りの職員に確認していた姿を目の当たりにしました。当たり前のことと思うかもしれませんが周りの職員が今、何をしているかを把握するというのはなかなか出来る事じゃないと思います。二年目で周囲に目を向け仕事をしている落合さんの成長を感じました。
107	嬉野保育園	西村 静香	保育園では年間を通してさまざまな行事があります。現在は12月に控えた生活発表会の準備を職員全員で力をあわせて頑張っているところです。生活発表会の大道具などの準備で欠かせないのが大型の「段ボール」なのですが、最近ではなかなか手に入れることがむずかしいのが現状です。西村リーダーは自転車屋さんなどに問い合わせたり、知り合いに頼んだりしながら調達しては園に運び、他のクラスの方までも何度も足を運び、材料を手に入れてくれました。以前にもお月見の時期には壁面装飾と一緒に飾るためのススキをたくさん集めてきてくれました。自分のことだけでなく、率先して園のために休日などを利用して準備をすすめてくれる姿は、若い職員にも良い手本となっています。
108	鈴鹿グループホーム	立松 美咲	11/22(木)に白塚・鈴鹿合同在宅部門会議があり、各事業のリーダーや管理者、期待値の大きい職員を交え、次年度の事業計画や予算についてディスカッションしました。初めて、参加する鈴鹿グループホームの立松さんは、集合時間よりも早く白塚ケアサービスセンターに着き、会議の机や椅子の配置など、率先して準備を行って来ていました。ハイレベルな会議にする為に大切なことは、準備の段階からの意識と環境を整えるというちょっとした心使いが重要だと思います。立松さんのおかげで、前向きな発言が飛び交い、私にとっても実のある会議が進行できたことに感謝です。
109	きらめき工房あおやま	奥瀬智恵美 奥島真由美	坂本上級リーダーからの紹介です。きらめき工房あおやまは100均商品の部品組み立て作業を日々行っておりますが、たくさんの方で作業の荷物が届く事が多く、生活介護班の部屋、和室などへ入れてもすぐにいっぱいになってしまっていました。そんな中、お2人は率先して生活介護の部屋のベッドやTVの位置を変えてきれいに模様替えをし、使用していないさをり織り機などの不要な物や災害時の非常食などを片付け・整理し、とても部屋が使いやすくなりました。そして、きれいになったことで荷物も場所も決めて、分かりやすく置けるようになりました。常に業務改善・効率化の意識があり、そこから実践としてこういった行動に繋がっていると感じ、今回模範行動事例として挙げさせていただきました。

	事業所	職員名	模 範 行 動
110	津中央ヘルパーステーション	西村小夜子 (登録ヘルパー)	津中央ヘルパーステーションでは、月初めから中盤にかけて登録ヘルパーさんの活動報告書(個票)が上がってきます。当ステーションで個票の入力作業を行い、それを元にして委託料が支払われます。今回私が、10月分と11月分の入力をしていて気が付いたのですが、西村ヘルパーだけ個票のご利用者名に「様」と付けて提出頂いていました。西村ヘルパーは、長い間 津中央ヘルパーを支えてくださっている一人です。そのベテラン登録ヘルパーが、この膨大な量の個票に一枚ずつ敬意を込めて「様」と書いていただいていることに感銘いたしましたので紹介いたします。
111	志摩介護老人福祉施設	食中毒・感染症 対策委員会の皆 さん	リーダーからの紹介です。施設には食中毒・感染症対策委員会があり、定例の会議は済んでいましたが、昨今の風疹の大流行を踏まえて、『風疹の勉強会の為の会議を開催して下さい。』と相談がありました。インフルエンザやノロウイルス等の流行期のものに限らず、今世間で起こっている事柄に対して、迅速に勉強の場を設け、またそれを発信してくれた当委員会の行動は、働く者としてまたチームとして見習うべき行動であると思いを紹介させていただきます。
112	志摩介護老人福祉施設	渡邊 ちづる	ユニットリーダーからの紹介です。あるご入居者様が胃瘻の交換で病院受診する際のお話です。ご本人様が昔お気に入りだった服を着て受診に行かれました。それはたまたまではなく、お気に入りの服なのでいつも以上に洗濯に気を付けないといけないと思い、衣服のタグを再確認して洗濯マークをチェックし、スポンは園で洗えるけど、上着はお家で洗濯してもらった方が良いかもしれない・・・、やっぱりご家族様に確認してからにしよう・・・等々、細かい配慮をして当日に着用して頂けるようにしてきていました。病院受診と言えど外出機会の少ないご入居者様の貴重な時間をより良いものにしようとする渡邊ちづるパート介護職員の気遣いに感激しましたので紹介させていただきます。
113	ふたみ訪問介護ステーション	掃部 直子 出口 浩美	12月のとある日、ふたみ訪問介護ステーションにご利用者様より担当ヘルパーに対するお言葉を頂く内容の連絡が入りました。事務所職員からその報告を受けた管理者の出口さんは、すぐに統括リーダーの掃部さんと連絡を取り合い対応を協議、直後にはそのご利用者様のお宅へ二人で向かい対応、内容の理解につなげてくれました。また、その日のうちにその担当ヘルパーの自宅も訪問し、内容を確認したうえで精神面のフォローにも努めてもらいました。 実は、おふたりは当日、公休の身でありましたが、迅速で丁寧な行動が相手の理解につながり、次への一歩となったと思います。また連携プレーの大切さを強く感じました。その責任感あふれる行動にこの場を借りて、感謝したいと思います。ありがとうございました。
114	訪問看護ステーション 鈴鹿シルバーケア豊寿園	岩本麻子	平成30年4月から正規職員として頑張ってくれている岩本麻子さんは、いつも先を読みながら丁寧に仕事をする人なので、安心して任せられる存在です。先日も、新規の契約や初回訪問が重なるシフトでしたが、マイナスな発言は一切なく、相手の立場に立って考え対応してくれました。そして、優れた観察力と問題点など要点をまとめて、迅速に報告をしてくれます。そんな岩本さんの今後の活躍にとっても期待しています。
115	工房楽々あやま	佐味谷 陽子	工房楽々では、年末に近くの陽夫多神社に干支の置物を奉納しています。今回、佐味谷さんは自身で工夫をして干支の置物をラッピングした袋に「楽々」の文字を印字したストラップを作ってつけてくれました。今までにも余った生地で髪留めを作って、ご利用者の方に喜んで頂いたりしました。ちょっとした気配りやアイデアでより良い作品になったり、ご利用者の方に喜んで頂けるので感謝しています。ご利用者様や楽々の作品の為に前向きに取り組む姿は見習っていききたいと思います。
116	津介護老人保健施設	福田 由真	豊和会役員からの模範行動事例の紹介です。12月8日(土)出発の台北旅行8班での出来事です。 初日に、デジタルカメラが壊れ撮影が出来ずにいました。2日目、集合写真を撮影する前に旅行参加者の方々に私物のカメラをお借りできないかと募ったところ、一番手を挙げていただき快く貸していただいたのが津介護老人保健施設介護員の福田 由真さんでした。3日間お借りできたことで全員笑顔の良い集合写真を撮ることでできました。しかし、福田さんの私物を借りたことによって、彼女のプライベートな台北旅行の写真(思い出)はデジタルカメラに収められることは無く大変申し訳なく思いました。帰国してから夜分、西館にて法人のパソコンにSDカードのデータを移した時は安堵しました。(豊和会役員より)ご本人にデジタルカメラを無事お返しするまでは、役員も取扱には十分注意を図り2日間を過ごしたそうです。デジタルカメラをお借りする事が出来なければ集合写真を撮れていなかったと言っても過言ではないと思います。福田 由真さんに感謝いたします。ありがとうございました。

	事業所	職員名	模 範 行 動
117	ふたみ介護老人保健施設	上紺屋 隆一	職員さんからの紹介です。 上紺屋ブロックリーダーは、手先が器用で四季折々の施設内の装飾を担当して下さっています。 クオリティが高いことは言うまでもないのですが、ご利用者様が楽しめるようまた、職員が使いやすいようにと様々な工夫がされています。 ほんの一例ですが、今年の七夕には生の笹だと虫の発生や落ち葉掃除などの手間がかかることから、レプリカを使って下さいました。毎年、簡単に使えるようにとアタッチメント方式で収納しやすく、収納場所を取らないようになっているのも拔かりありません。秋祭りや運動会で使用する和太鼓は、しっかりと音も出ます。ご利用者様が手に取って、話のきっかけ作りやレクリエーションを通して楽しませている姿を見ると、温かい気持ちになります。上紺屋ブロックリーダーには普通のことなのでしょうが、ちょっとした工夫がいかに大事か、上紺屋ブロックリーダーの働く姿から多くを学ばせてもらっています。 ご利用者様に少しでも四季を感じて頂こうと、心のこもった創作を今も変わりなく続けられている上紺屋ブロックリーダーの行動が素晴らしいと紹介させて頂きました。
118	つまちなか居宅介護支援センター	竹村 順子	つまちなか居宅介護支援センターでは主任ケアマネとして、ご利用者様の為にという基本にぶれることなく、いつもメンバーの相談に適切にアドバイスしてくれます。そして、つまちなか総合相談センターでの窓口対応の際は、初めての来園者にも世間話からさりげなく介護等の話を聞きだし、共感しながらアドバイスして、すっきりして帰っていかれる方も多くいらっしゃいます。同時に、展示している靴など商品の販売も、提案→嫌みはないがちょっと押しの強いお勧め→購入にいたる話術は必見です。たった今も血圧測定から杖の販売に至ったとのこと。本当に頼りになる存在です。
119	鈴鹿居宅介護支援G	田中 育子	いつも丁寧な対応をされている鈴鹿居宅介護支援事業所の田中 育子リーダー。先日、私が急遽仕事を休むことになり・・・その日は交通安全目標を作成する当番だったので、「どうすればいいのか」気にしていたところ、1通のメールが届きました。「次の当番の方と交代したので、安心して下さい」この一言で安心して休むことが出来ました。リーダーとして、当たり前と思われるかもしれませんが、「当たり前」をしっかりとこなし「当たり前のレベル」を高めている姿に、私も見習おうと思わせてくれました。
120	津介護老人福祉施設	山田専務執行役 津特養職員の皆さん	津久居包括が地域のケアマネジャーから相談を受けていたある男性ご利用者様の話です。 入所中の施設である理由で断食をしていました。断食も5日目に入り、命の危機もあることから病院受診をしていただきましたが、「私は食べられないのではなく、自らの意思で食べない」とはっきり意思表示をされたため入院できず、また元の施設にも戻れません。問合せをしたけどの施設も「食べられない人は受けられません」と断られ、ケアマネジャー、ご家族様、久居包括共に困り果てていました。そんな時、津特養で2泊3日ならと受けていただき、ショートステイ利用となりました。津特養に到着してから、「一刻も早くここから出せ」と大声をあげ、誰の話も聞こうとしません。もちろん夕食も全く箸をつけない状態でした。 それでも津特養の職員の皆さんは、難聴のご利用者様に筆談で語りかけたり、大きな声で話しかけ、懸命にコミュニケーションをとっていただきました。山田専務執行役も訪室しては話しかけていただいていた。そして、3日目に朝食を食べられたのです。 「今まで自分は自分の意思を貫くために、わがままばかり言っていました。豊壽園の素晴らしい介護と職員の施設長のお話に感銘を受けました。これからは自分のわがままを貫き通さず、なんでも言うことを聞いて、皆に迷惑をかけないようにしていこうと思います。朝食をいただきました。豊壽園のご飯が一番おいしかったです。おいしく完食しました。もし自分の身体が全く動かなくなった際は、ぜひ豊壽園に入所したい。」という言葉をご利用者様からいただきました。 ご家族様もそれを聞き、泣いて喜ばれていました。また、ケアマネジャーも「さすが豊壽園。はじめから豊壽園にお願いしていればよかった。」と話していました。他の施設では気難しい頑固なご利用者であると職員から距離を置かれていましたが、津特養では職員の皆さんの暖かい声かけ、心のこもった介護で、このご利用者様の信念をも突き動かすことができたのだと思います。 津特養の素晴らしい職員の方々の対応に久居包括の職員も感銘を受けましたので、皆さんにも報告させていただきたいと思います。
121	志摩介護老人福祉施設	西井 健太	人材獲得が非常に厳しい現実がある中、他力本願ではダメだという思いで、西井健太リーダーは以前から個人で採用活動をしてきています。それは、プライベートでどこかの飲食店等に入った時など、店員さんの愛想や所作、接遇面、テンションやキャラクターなどの様子を観察して、この人介護や福祉の仕事に向いていそうだと感じたら、『介護の仕事に興味無いですか?』と声を掛けて来ています。その気概と勇気も本当にすごいですし、そうやって声をかけた相手から返ってくる言葉が、『今、理学療法士の学校に通っているんです。この地域で就職すると思いますのでまたどこかでお会いしたらその時はよろしくお願いします!』とか、『保育士として就職先も決まっています。お声掛けありがとうございます。』とかがあり、西井リーダーのこの嗅覚がすごいと思いませんか?一緒に食事行ってもいいかも、『あの店員さんのあの感じ、介護職に向いていると思いませんか?ご利用者と上手に接してくれて良い介護職員になりそうな気がするんですけど。。。』とかをいつも言っています。常にそういう目線にいる彼の姿勢に感心しています。ありがとうございます。

	事業所	職員名	模 範 行 動
122	きらめき工房いが	村林 敬介	今回は、村林リーダーを紹介させていただきます。彼は今まで人生で一度も交通事故をしたことがありません。当てられた事もないのです。よってもちろんゴールド免許であり優良ドライバーです。でもそれは偶然ではなく必然なことです。勤務においてもいつも余裕を持って出勤されたり、法定速度をしっかりと守ったりと、日々の生活の中で安全をしっかりと意識してこそ成しえることができているのだと思います。彼は決して無理な行動はしません。法人で起こった事故はちょっとした無理をして、不注意にぶつけてしまうことが多くあるように思います。ご利用者様を送迎する上で、彼は安心で快適におとどけなければいけないという意識の高さが今まで無事故無違反という偉業を作っているのだと思いここに紹介させていただきます。
123	高茶屋居宅介護支援G	三宅 和文	精神疾患の息子と夫との3人暮らしのご利用者様が年度末にキーパーソンの夫が急きょ入院となりショートステイ待機利用。後見人制度をご利用しており今後のことも考え相談の結果、精神科へ入院目的のため受診が必要となりました。しかし担当ケアマネは公休で付き添いの都合がつかず三宅さんをお願いすることになりました。当日は自分の訪問予定もありましたが自ら日程調整をされ時間をもって対応できるようにし、受診時のご利用者様の不安時の付き添い、入院決定後病院へ荷物を届けるなどすべてしてくれました。翌日、後見人からも「豊壽園さんに良くしてもらい助かりました」と特養ショートステイの調整をしてくれた相談員さんを含めお礼を頂きました。居宅ケアマネは事業所で依頼を受け担当でケースを持ちます。こうした助け合いや柔軟な行動で安心して公休もとれチームとしても強化されていくのだと思います。三宅さんの柔軟で責任ある行動を評価したいと思います。
124	ふたみ介護老人保健施設	野村 純子	職員さんからの紹介です。野村ナースは字がとて上手で、書類の清書を快くいつも引き受けてくれており、パソコン操作が苦手なナース陣にとって、とても助かるありがたい存在です。また、行事の看板等の筆書も頼まれることも度々あり、その達筆ぶりを披露してくれています。すてきな文字と同じで、仕事も丁寧にこなしてくれており、ふたみ老健にとって必要不可欠な存在です。まだまだ第一線で働いてもらい、ふたみ老健を支えていって欲しいと思います。
125	豊野保育園	豊田 純子 馬淵 真理 川口 万由美	3名の方は、とよの放課後児童クラブの指導員です。開所し3年となりますが、ずっと力を合わせて頑張ってもらっており、毎年入会希望者も増えてきています。子どもたちに寄り添い悩みを聞いたり、時には真剣に叱ったり。子どもたちからの信頼も厚いです。また、学童だけでなく、豊田先生は午前中は子育て支援センターの支援員でもありフルタイムで努めてもらっていますし、ピアノの講師の経験のある川口先生は行事でピアノ伴奏をしてくれたり、馬淵先生は、製作や裁縫が得意で生活発表会の衣装作りなど進んで手伝ってくれ、苦手な保育士に教えてくれたりもします。それぞれに力を発揮し、活き活きと務めてもらっている先生方は模範にしていきたいと思い、あげさせて頂きました。
126	津介護老人福祉施設	谷本 翔太	津特養では平成29年、平成30年と二年続けてインフルエンザ感染が施設内において蔓延することがありました。今年こそは感染症を蔓延させない思いは職員皆同じですが、1月17日の出来事です。施設長より、施設内における感染症への罹患率はいないが、地域情報からもインフルエンザが猛威を奮っているとのことで、ご家族様の面会場所制限の指示がありました。事務所では、ご家族様への連絡と玄関へ案内を行っており、フロア現場へは取り急ぎ口頭で「ご家族様の面会場所の制限を行っているので、事務所でも面会に来園されたご家族様へ伝えるが、フロアにご家族様がみえたら制限を行っていることを伝えて欲しい。」と谷本介護職員へ伝えました。すると谷本介護職員は、素早く上司に申し送り内容の確認を行い、申し送りノートへ記入。そして、的確に出勤職員へ伝達を行っていました。彼は今年特養4年目の職員です。昨年も一昨年も施設内での感染症対応の苦労を知る職員の一人数です。「今年こそは感染症の蔓延を予防する」という意気込みが人一倍強く、また彼自身の成長を感じました。今回は、申し送りを的確且つスピーディーに行った行動を模範行動としてご紹介させていただきます。
127	阿児訪問介護ステーション	山本 すみ子 登録ヘルパー	阿児居宅竹内リーダーからの紹介です。登録ヘルパーの山本さんはとても話上手なヘルパーさんで、ご利用者様にも大変人気があります。先日も訪問した先のご利用者様宅で山本ヘルパーが活動中でした。活動されている様子を拝見していると、山本ヘルパーはご利用者様の話を聞くだけでなく、言葉にして感謝の言葉や、労いの言葉をかけておられご利用者様は笑顔で「嬉しい事を言うてくれるわー」と言われていました。ご利用者様への感謝の気持ちに胸が熱くなる物がありました。私自身も見習いたい思い紹介させて頂きました。
128	嬉野保育園	村井 愛 上島 妙子	子育て支援センターの村井保育士、上島支援員はセンターの業務はもちろんのこと、時間を見計らい園内の美化にも一生懸命取り組んで来ています。特に、エントランスや玄関は支援センターを訪れる地域の方々や園児、保護者の皆さん、業者さんなどたくさんの来客がある場所。天井やガラス、ポーチの隅々までいつもきれいに掃除をしてくれたり、季節の飾りつけをしてくれています。おかげで、園を訪れる皆さんは気持ちよく利用していただいています。

	事業所	職員名	模 範 行 動
129	阿児小規模多機能型 居宅介護	山際 かおり	12月の話になりますが、あるスーパーの駐車場で、一人の女性が買物をした荷物を自分の車に載せようとした時、その女性は、荷物と共に転倒し、山際さんはその光景を少し離れた場所で見たそうです。転倒した女性は、動くことができなかったようで、近くにいた男性と山際さんは、女性の意識や状態の確認と、またご家族への連絡も促し、スーパーの方との連携をとり、女性は救急搬送されたそうです。周辺には、他に人もいたようですが、山際さんの勇気ある行動と人柄を紹介したいと思いました。
130	本町 総務課	小林 優斗	法人本部総務課に所属している小林 優斗さんを紹介します。 小林さんは、本部では日々会議が開催されている中、その会議の状況を日々確認をして午前中の会議の場合には、前日より準備していることもあります。例えば、会議室の設営(机、椅子の配置)、Proweb会議のときは、パソコンとスクリーン、マイク等のセッティング、お茶・資料の準備、会議に出席して記録係りに至るまで、細やかな心使いが見受けられます。上司より指示を受けてする時もありますが、自らが率先して準備に取り掛かり、完了の報告をしたのちには、〇〇な状況になった時はどうしましょうか?とかこうしようと思えますとか、提案もあります。会議の状況を予測したりして、いつも360度アンテナを張ってみえます。このような下支えの小林さんのような職員がいることにより、会議もスムーズに進める事ができます。自分も小林さんを見習うべき所が沢山ありますので、今回紹介させて頂きました。
131	ふたみ通所リハビリセン ター	仲村 穂名美	とある日、ふたみ通所リハビリセンターホール内に職員を呼ぶ仲村さんのしっかりとした声が通りました。ご利用者様の介助中であつた仲村さんでしたが、違う場所に転倒しそうな他のご利用者様を見つけ、周りの職員へ応援をしっかりと依頼し、適切な対応をとってくれました。おかげで、ご利用者様は転倒を免れ、無事でした。周りをよく見る視野と、周りの職員(特に先輩)への適切な声掛け、このことは当たり前の行動ですが、それを確実に行動に移せたことが、4月から新卒採用で配属となった仲村さんのこれまでの頑張り・成長を感じさせてくれるとても頼もしい出来事でした。今後の活躍も期待し、紹介させていただきました。
132	津介護老人保健施設	太田 剛史	老健には洗濯場担当の作業員がおりますが、洗剤の量を決められた量を入れられなかったり、洗濯物が溜まっているにも関わらず洗っていないかったりとだんだん作業が出来なくなってきている。そこで全体会議で職員に対し洗濯場の説明を行い、フォローに入るように指導したところ先日太田剛史介護員がポータブルトイレを清掃中の作業員に対し、「乾燥があと15分ほどで終るので、また確認お願いします」と声掛けしてくれていました。コール対応やいろいろな準備に追われる忙しい時間帯に自ら洗濯場に入り状況を確認してくれた事に凄く感謝しましたし、何より一緒に働く仲間の不足している能力を補おうとする姿勢に仲間意識の強さを感じました。
133	津介護老人保健施設	太田 和磨 福田 由真	1/10ケアハウスのご利用者様が転倒、骨折され病院受診されましたが、肩にひびがはいっていた程度で済んだ為戻ってくることになりました。当直ナースが夜と朝に巡回してくれているので、夜中に1回の巡回を老健3階夜勤者の太田和磨介護員と福田由真介護員にお願いする事にしました。夜中1時に巡回したところベットより転落していた為、老健より転落防止マットを持ってきて施行し、その後も1時間に1回の巡回をしてもらい、何事も無く朝を迎えることが出来たとの事で八木施設長より感謝のお言葉を頂きました。事業所を越え、自らの負担も返りみず機転の利いた対応をとってもらった太田和磨介護員と福田由真介護員はご利用者様を思う気持ちが強い、立派な介護員だと思いました。

ONE WAKE RECITAL SETSUGU COMMITTEE 2019

発行 平成31年3月
発行者 社会福祉法人洗心福社会
〒514-0831 三重県津市本町26番地13号
TEL 059-222-7700 FAX 059-222-7701

